


データ プロジェクター

取扱説明書

VPL-FHZ120L/FHZ90L

国・地域によって販売されていない機種があります。
ソニーの相談窓口を確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI 

目次

各部の名前

本体.....	3
接続端子部.....	4
リモコンと操作部.....	5

接続と準備

接続する.....	6
コンピューターとの接続.....	6
ビデオ機器との接続.....	7
外部モニターとの接続.....	8
ネットワーク機器との接続.....	9
HDBaseT™機器との接続.....	9
投写レンズを取り付ける.....	11
投写レンズを取り外す.....	11
端子カバーを取り付ける.....	12
端子カバーを取り外す.....	12
オプションアダプターを取り付ける (VPL-FHZ120Lのみ).....	13

映像の投写と画面の調整

映像を投写する.....	14
電源を切る.....	14
投写画面を調整する.....	14
画面のフォーカスを調整する (フォーカス).....	14
画面のサイズを調整する (ズーム).....	14
画面の位置を調整する (レンズシフト).....	15
台形になった画面を補正する (キーストーン補正).....	15
画面のゆがみを補正する (ワープ補正).....	16
複数台で1画面を投写する場合.....	17
便利な機能を利用する.....	18
保存した画面設定を選択する (ピクチャーポジション機能) (対象レンズのみ).....	18
映像の一部を拡大する (デジタルズーム機能).....	18
2画面同時に投写する (2画面機能).....	19

メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた.....	20
画質設定.....	21
画面モード.....	23
機能設定.....	25

操作設定.....	26
接続／電源設定.....	27
設置設定.....	29
情報.....	32

ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用する.....	33
ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く.....	33
プロジェクターの状態を確認する.....	34
プロジェクターを操作する.....	34
メールレポート機能を利用する.....	34
ネットワーク設定を行う.....	36
プロジェクターの制御プロトコルを設定する.....	37
HTML ビューアー機能について.....	39
ソフトウェアアップデート機能を利用する.....	41

困ったときは

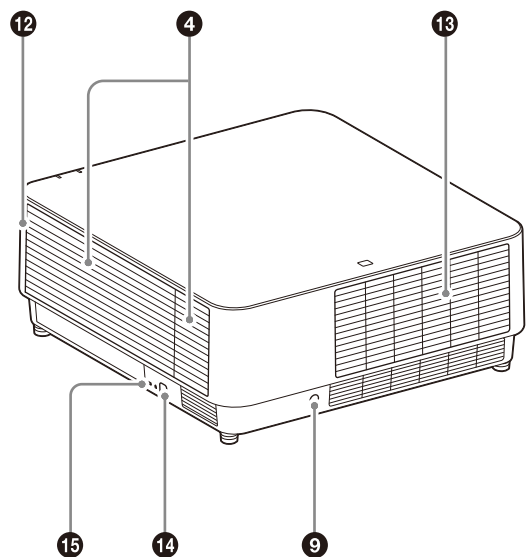
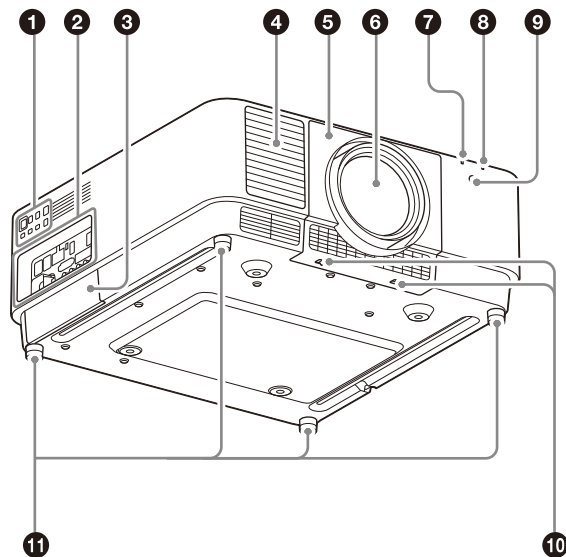
インジケータの見かた.....	42
メッセージ一覧.....	44
故障かな?と思ったら.....	45

その他

エアフィルターを掃除する.....	47
ソフトウェアのアップデートを行う.....	48
USB メモリーを使ってアップデートする.....	48
ネットワークに接続してアップデートする.....	48
主な仕様.....	49
ピン配列.....	52
対応信号一覧.....	53
投写距離とレンズシフト量.....	54
寸法図.....	57
保証書とアフターサービス.....	59
商標について.....	59
ソフトウェアに関するお知らせ.....	59

各部の名前

本体



- ❶ 操作部 (5 ページ)
- ❷ 接続端子部 (4 ページ)
- ❸ オプションアダプター用スロット (VPL-FHZ120L のみ) (13 ページ)
別売のオプションアダプターを取り付けることができます。
- ❹ 吸気口
- ❺ レンズカバー (11 ページ)
- ❻ レンズ (別売) (11 ページ)
- ❼ ON/STANDBY インジケーター (42 ページ)
- ❽ WARNING インジケーター (42 ページ)
- ❾ リモコン受光部
前面と後面にあります。
- ❿ LENS COVER RELEASE ボタン (11 ページ)
- ⓫ 調整脚部 (15 ページ)
- ⓬ フィルターカバー (47 ページ)
- ⓭ 排気口
- ⓮ 盗難防止用バー
市販の盗難防止チェーン (ワイヤー) などを取り付けることができます。

❿ 盗難防止ロック

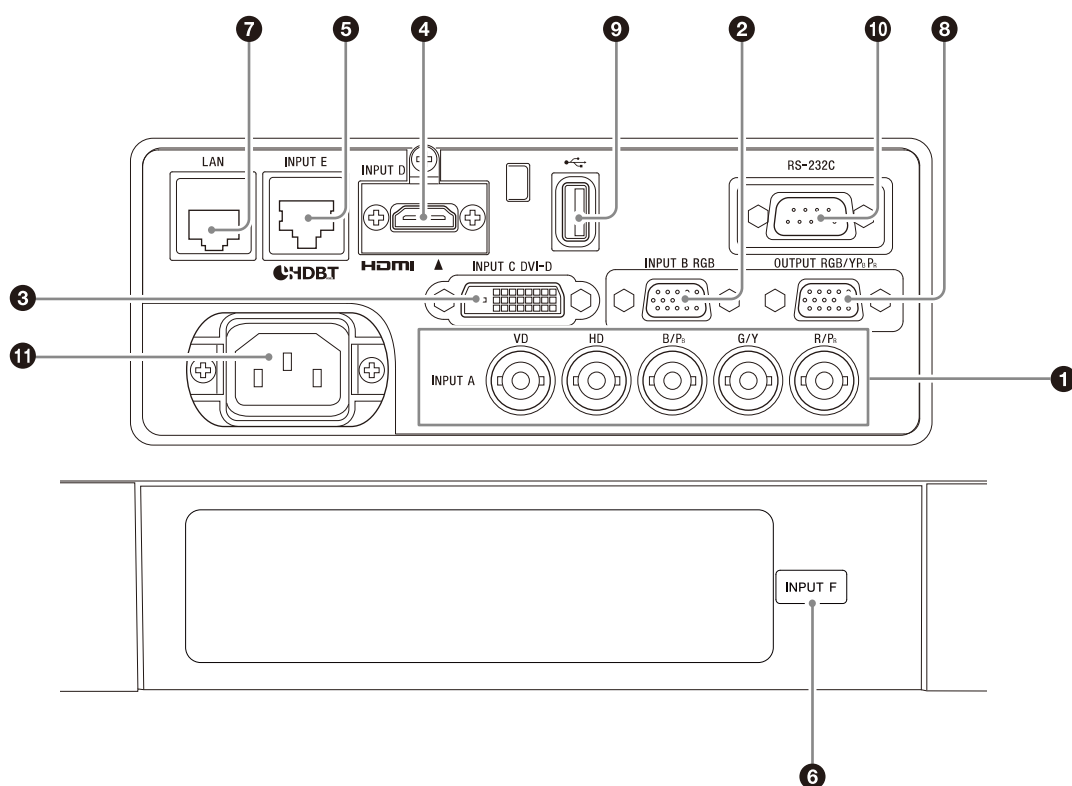
Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。

<http://www.kensington.com/>

⚠ 警告

排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。

接続端子部



① 入力 A (INPUT A)

映像：RGB/Y Pb Pr 入力端子
(RGB HD VD / Y Pb Pr)

② 入力 B (INPUT B)

映像：RGB 入力端子 (RGB)

③ 入力 C (INPUT C)

映像：DVI-D 入力端子 (DVI-D)

④ 入力 D (INPUT D)

映像：HDMI 入力端子 (HDMI)

⑤ 入力 E (INPUT E)

HDBaseT 端子

⑥ 入力 F (INPUT F) (VPL-FHZ120L のみ)

取り付け可能なオプションアダプターについては、「別売アクセサリ」をご覧ください。(50 ページ)

⑦ LAN 端子 (9 ページ)

HTML ビューアー機能で使用する場合は、入力 G (INPUT G) として選択可能です。(39 ページ)

⑧ 出力 (OUTPUT)

映像：RGB/Y Pb Pr 出力端子 (RGB/Y Pb Pr)
投写している映像が出力されます。RGB 入力端子 (入力 A、入力 B) からコンピューター信号を入力しているとき、または Y Pb Pr 入力端子 (入力 A) からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

⑨ USB 端子

HTML ビューアー機能、ソフトウェアアップデート用の端子です。(39、41 ページ)

HTML ビューアー機能で使用する場合は、入力 G (INPUT G) として選択可能です。(39 ページ)

ご注意

本機の USB 端子は、USB ハブに対応していません。

⑩ RS-232C 端子

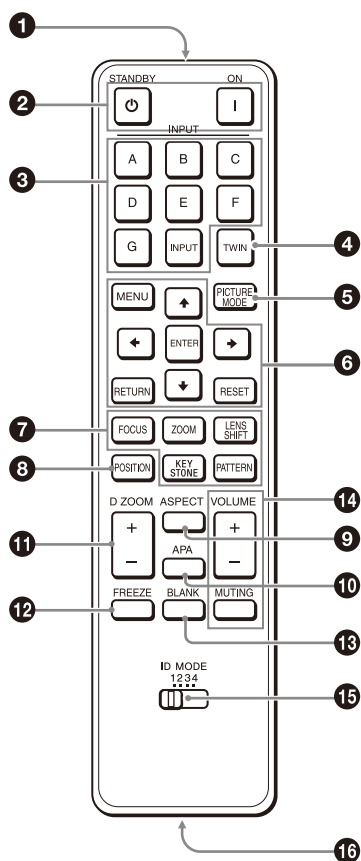
RS-232C 準拠の制御用端子

⑪ 電源コンセント (～)

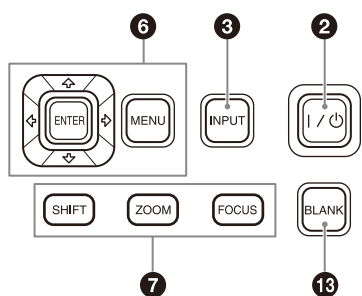
付属の電源コードを接続します。

リモコンと操作部

リモコン



操作部



- ① リモコン発光部
- ② I (オン) ボタン / 〇 (スタンバイ) ボタン
電源を入れたり、スタンバイにしたりします。
- ③ INPUT (入力選択) ボタン
入力を切り替えます。(14 ページ)
- ④ TWIN (2 画面) ボタン
2つの入力信号を主画面、副画面の2画面で同時に投写できます。(19 ページ)
- ⑤ PICTURE MODE ボタン
画質モードを切り替えることができます。

- ⑥ MENU ボタン / ENTER ボタン / ↑/↓/←/→ ボタン / RETURN ボタン / RESET ボタン
メニュー操作などを行います。(20 ページ)
- ⑦ FOCUS ボタン
電動フォーカスレンズの装着時に使用します。(14 ページ)
ZOOM ボタン
電動ズームレンズの装着時に使用します。(14 ページ)
- ⑧ LENS SHIFT ボタン / PATTERN ボタン / KEYSTONE ボタン
投写画面の調整に使用します。(14 ページ)
- ⑧ POSITION (ピクチャーポジション) ボタン
レンズの設定 (フォーカス、画面の大きさ (ズーム)、画面位置 (シフト)) を6つまで保存できます。(18 ページ)
- ⑨ ASPECT ボタン
投写している画面の縦横比が切り替わります。(24 ページ)
- ⑩ APA (オートピクセルアライメント) ボタン
RGB 入力端子 (入力 A、入力 B) からコンピューターの映像を投写している場合、入力信号を画面に合うように自動的に調整します。調整中にもう一度 APA ボタンを押すと、調整が取り消されます。
- ⑪ D ZOOM (デジタルズーム) ボタン
投写中の映像の一部を拡大します。(18 ページ)
- ⑫ FREEZE ボタン
一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。コンピューター信号を入力しているときに使用できます。
- ⑬ BLANK ボタン
一時的に映像を消します。もう一度押すと解除します。
- ⑭ VOLUME ボタン / MUTING ボタン
本機では使用しません。
- ⑮ ID MODE スイッチ (26 ページ)
リモコンの ID モードを設定します。プロジェクターを複数台使用する場合に、それぞれ異なる ID モードを設定しておく、リモコンと同じ ID モードのプロジェクターのみ制御が可能になります。
- ⑯ コントロール S 出力端子
本機では使用しません。

リモコンの操作について

- ・リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・リモコンが本体に近いほど操作が可能な角度が広がります。
- ・リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

接続と準備

接続する

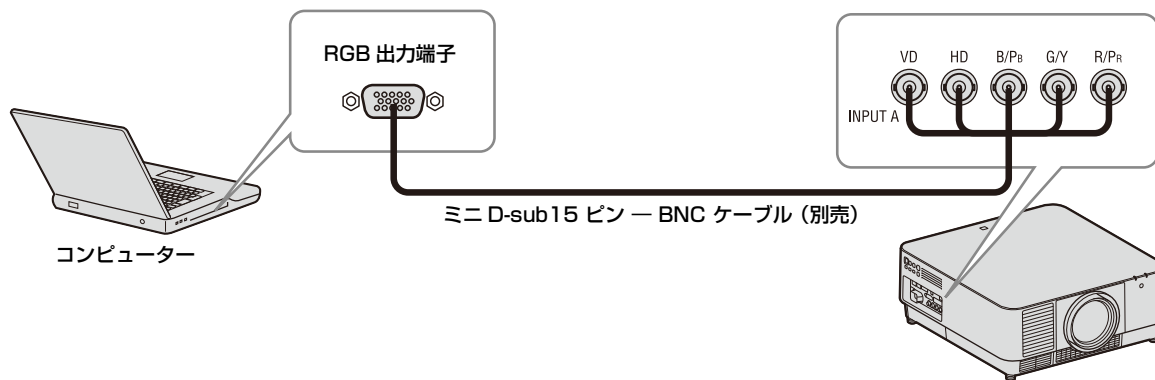
ご注意

- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターとの接続

入力 A (INPUT A)

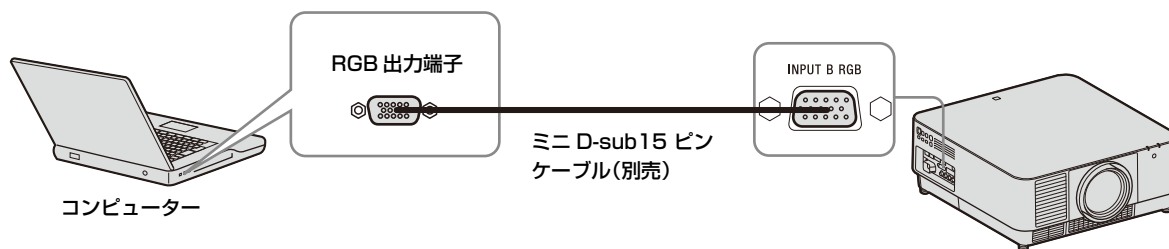
長距離でコンピューターと接続する場合に使用します。



入力 B (INPUT B)

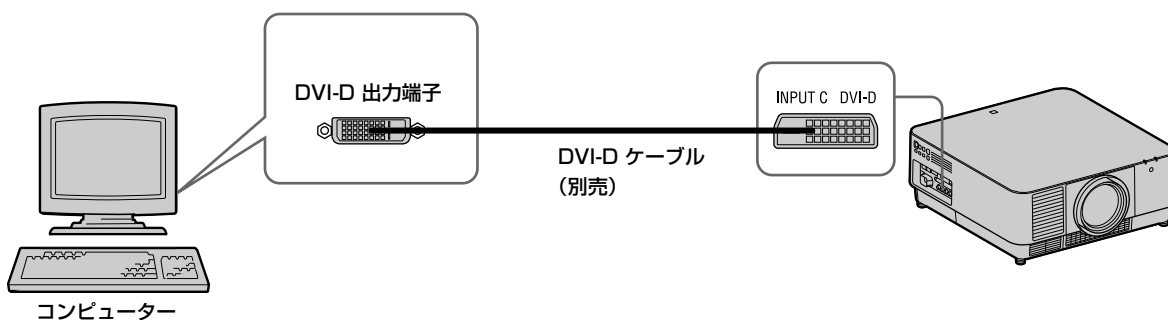
RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。

コンピューターの画面設定で、外部モニターの解像度を 1920×1200 ピクセルに設定することをおすすめします。



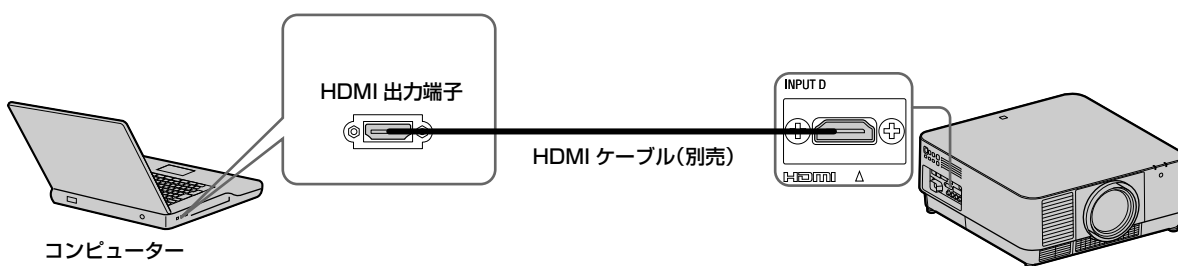
入力 C (INPUT C)

DVI-D 出力端子付きのコンピューターと接続します。



入力 D (INPUT D)

HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。



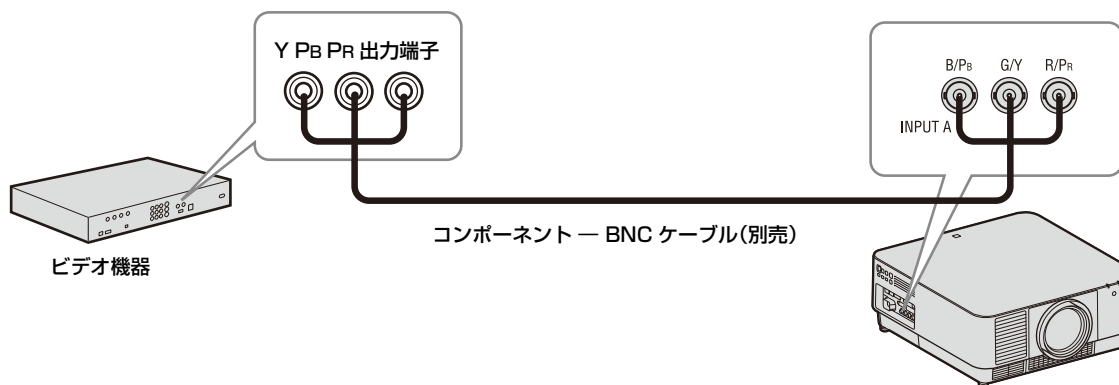
ご注意

- ・ HDMI で接続する機器は、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

ビデオ機器との接続

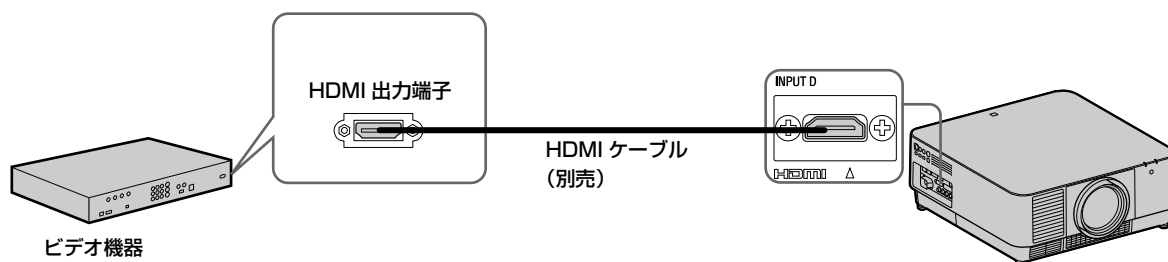
入力 A (INPUT A)

長距離でビデオ機器と接続する場合に使用します。



入力 D (INPUT D)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。

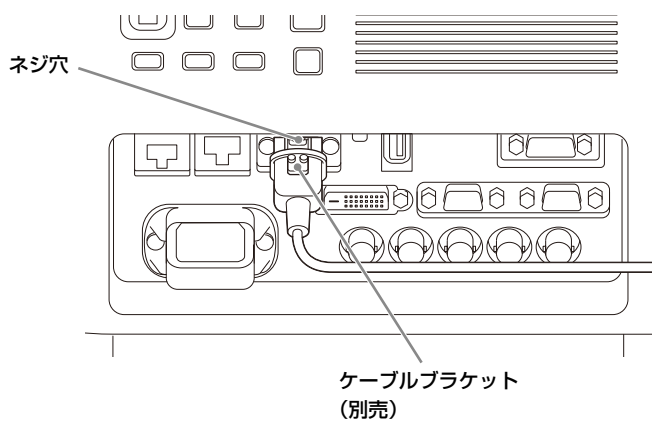


ご注意

- ・ HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

HDMI ケーブルを固定したい場合は

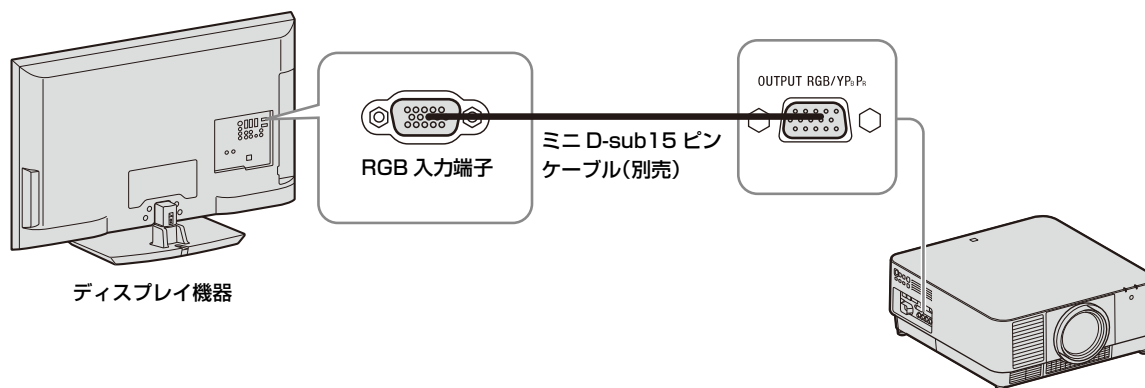
接続端子部の上にあるネジ穴を利用して、市販のケーブルブラケットなどを用いて、図のように固定してください。



外部モニターとの接続

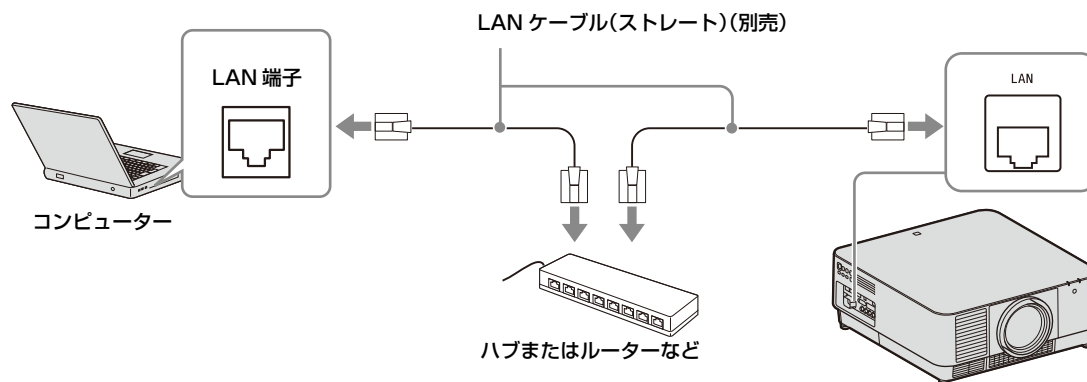
出力 (OUTPUT)

投写している映像が出力されます。RGB 入力端子 (入力 A、入力 B) からコンピューター信号を入力しているとき、または Y Pb Pr 入力端子 (入力 A) からビデオ信号を入力しているときに出力できます。



ネットワーク機器との接続

LAN 端子の使用



ご注意

LAN 端子でネットワーク機能をご使用の際は、「LAN 設定」が「LAN 端子」になっていることをご確認ください。(27 ページ)

HDBaseT™機器との接続

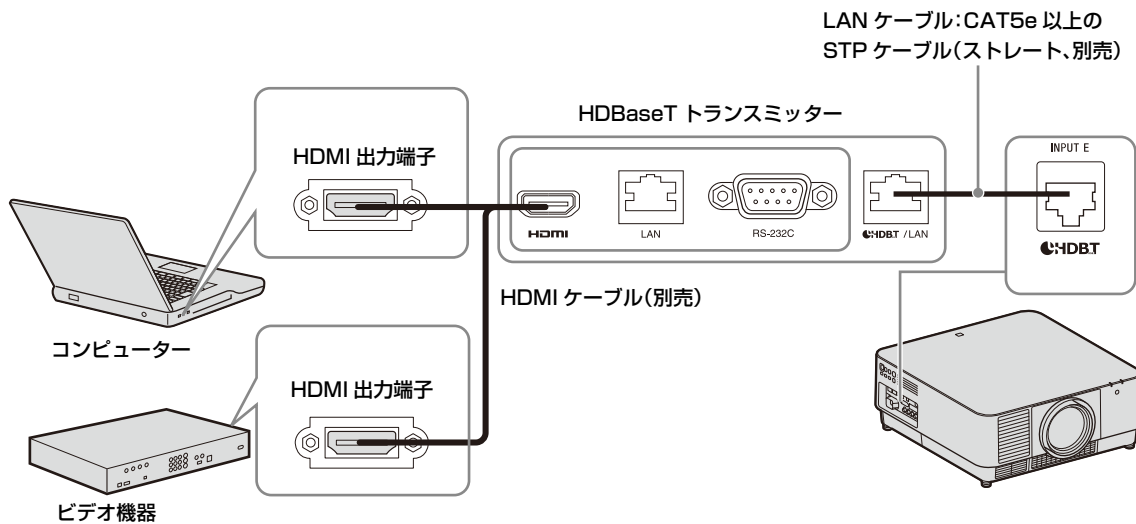
HDBaseT トランスミッターを経由して、コンピューター、ビデオ機器、ネットワーク機器と接続します。

本機と HDBaseT トランスミッターとの接続に関するご注意

- ・ ケーブル配線工事は、工事専門業者、または販売店に依頼してください。工事に不備があると、ケーブル伝送特性が得られず、映像が途切れたり乱れたりする原因となります。
- ・ ケーブルは、ハブやルーターを介さずに直接接続してください。
- ・ 次の条件に適合したケーブルをお使いください。
 - CAT5e 以上の規格に適合
 - シールドタイプ(コネクタを含む)
 - ストレート結線
 - 単線
- ・ ケーブル敷設時には、ケーブルテスターやケーブルアナライザーなどを使用して、ケーブルの特性が CAT5e 以上の特性を満たしていることを確認してください。途中で中継コネクタを介している場合は、それも含めて測定してください。
- ・ ノイズの影響を少なくするため、ケーブルはできるだけ巻かず引き伸ばした状態で、設置・使用してください。
- ・ ケーブルは、他のケーブル、特に電源ケーブルから離して敷設してください。
- ・ 複数のケーブルを敷設するときは、束ねないで並走する距離をできるだけ短くしてください。
- ・ ケーブルの伝送可能距離は最長 100 m です。これを上回ると映像が途切れたり、LAN 通信で誤動作したりすることがあります。最長伝送距離以上でのご使用はご遠慮ください。
- ・ 他社製機器に起因する操作や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

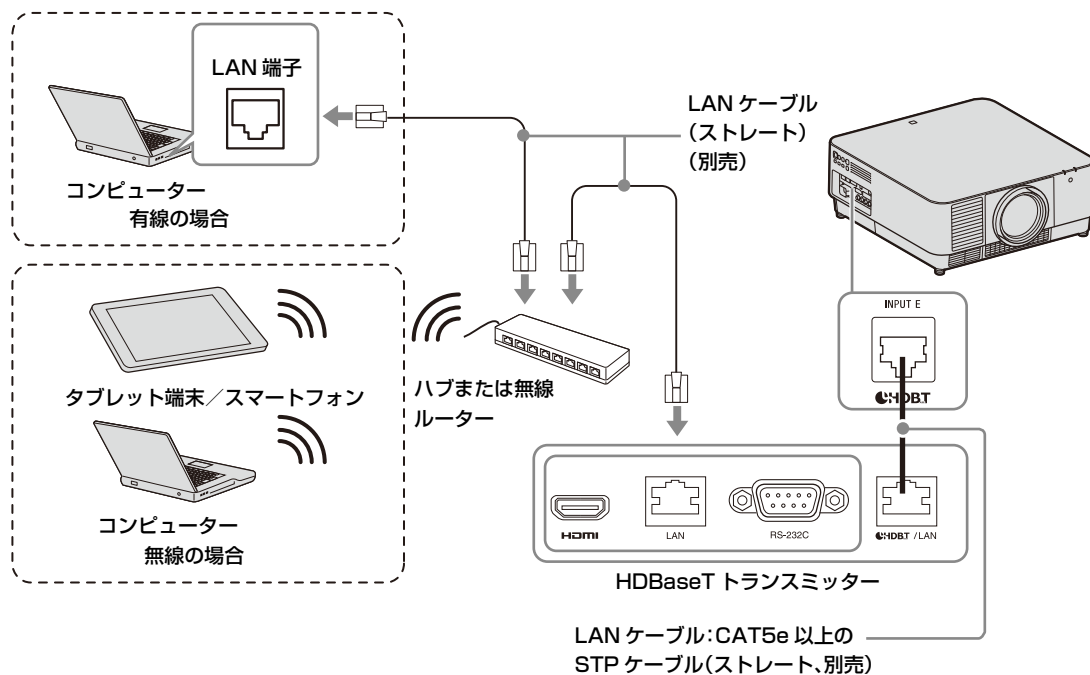
コンピューター、ビデオ機器との接続

入力 E (INPUT E)



ネットワーク機器との接続 (HDBaseT 端子の使用)

HDBaseT 端子を経由して本機をコントロールする場合の接続です。



ご注意

- ・ ネットワーク機能をご使用の際は、「LAN 設定」が「HDBaseT 経由」になっていることをご確認ください。(27 ページ)
- ・ 本機と HDBaseT トランスミッターは、ハブやルーターを介さずに直接接続してください。

投写レンズを取り付ける

ご注意

- ・天吊状態では行わないでください。
- ・取り付け可能な投写レンズについては「別売アクセサリ」をご覧ください。(50 ページ)
- ・別売アクセサリとして指定されているレンズ以外は取り付けしないでください。
- ・投写レンズを落とさないように気をつけてください。
- ・レンズ面には手を触れないでください。

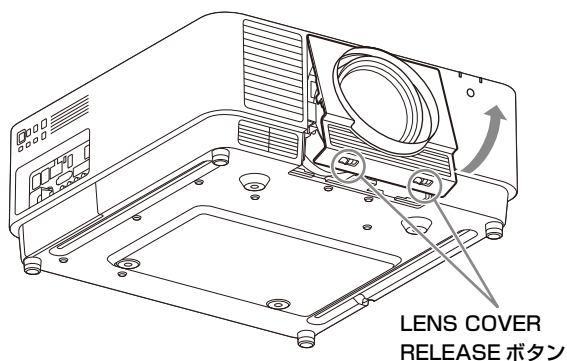
- 1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

⚠ 注意

レンズ交換時にあやまって強い光が目に入ると目を傷める恐れがあります。レンズを交換する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

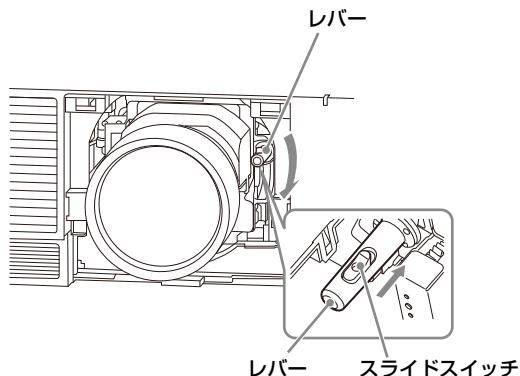
- 2 レンズカバーを取り外す。

LENS COVER RELEASE ボタンを内側に動かしながら、「カチッ」と音がするまでレンズカバーを引き出します。



- 3 接点基板がレンズ正面から見て左側にある状態で、投写レンズを奥まで差し込む。

- 4 スライドスイッチを押し込みながら、「カチッ」と音がするまでレバーを下げる。



- 5 レンズカバーを取り付ける。

レンズカバーの上側をトップカバーに引掛け、「カチッ」と音がするまで押し込みます。その後、LENS COVER RELEASE ボタンを内側に動かしながら、レンズカバーを差し込んでください。

レンズが取り付けられている場合でも、同じ手順でレンズカバーの取り付け／取り外しが可能です。

投写レンズを取り外す

- 1 投写レンズをセンター位置に戻す。

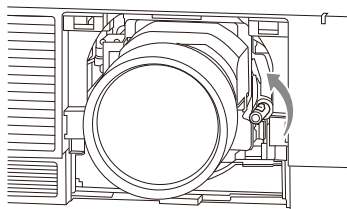
本機の電源を入れている状態で、リモコンの LENS SHIFT ボタンを押し、その後、リモコンの RESET ボタンを押してください。投写レンズがセンター位置に戻ります。

- 2 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

⚠ 注意

レンズ交換時にあやまって強い光が目に入ると目を傷める恐れがあります。レンズを交換する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

- 3 レンズカバーを取り外す。
- 4 スライドスイッチを押し込みながらレバーを制限まで上げ、レンズをまっすぐに引き出す。



- 5 レンズカバーを取り付ける。

端子カバーを取り付ける

入力 D (HDMI)、LAN 端子、入力 E (HDBaseT) のいずれかの接続に限られる場合は、付属の端子カバーを取り付けることができます。

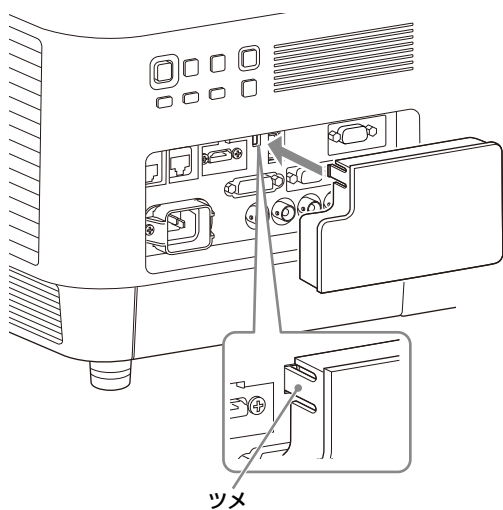
付属の端子カバーを取り付けることで端子部へのほこりの入り込みを軽減し、外観をすっきり見せることができます。

ご注意

接続ケーブルの状態や床置きなど設置方法によってはカバーを取り付けられないことがあります。使用上の問題はありません。

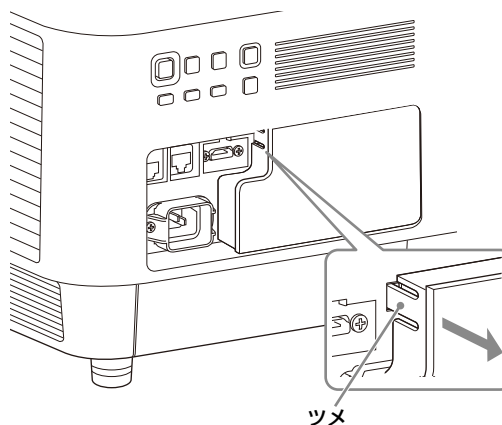
1 端子カバーのツメを取り付け穴に差し込み、端子カバーを取り付ける。

端子カバーのツメがしっかりと差し込まれていることを確認してください。



端子カバーを取り外す

1 端子カバーのツメを押しながら、端子カバーを引き出す。



オプションアダプターを取り付ける (VPL-FHZ120L のみ)

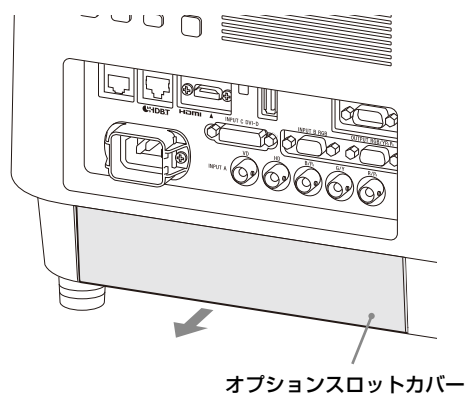
別売のオプションアダプターを接続端子部のオプションアダプター用スロットに取り付けることにより、INPUT F として使用することができます。

ご注意

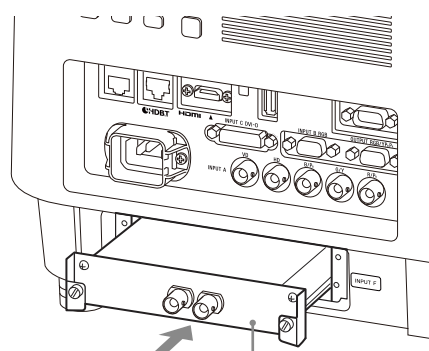
- ・オプションアダプター装着時に外したオプションスロットカバーは必ず保管し、オプションアダプターを取り外した場合はカバーを取り付けてください。
- ・取り付け可能なオプションアダプターについては、「別売アクセサリー」をご覧ください。(50 ページ)
- ・別売アクセサリーとして指定されているオプションアダプター以外は取り付けないでください。
- ・ご使用方法については、オプションアダプターの取扱説明書も合わせてご確認ください。

1 プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

2 接続端子部に取り付けてあるオプションスロットカバーの下部を押して、取り外す。

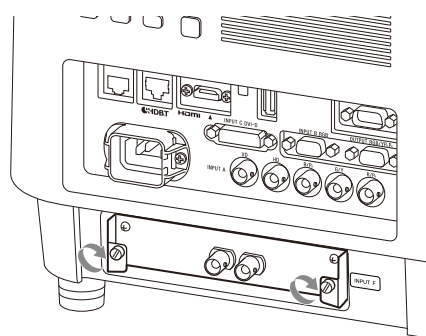


3 オプションアダプターを奥まで差し込む。



例: 3G-SDI 入力アダプター(別売)

4 ネジ (2 か所) を締めて、オプションアダプターを固定する。



映像の投写と画面の調整

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、装着するレンズとスクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（54 ページ）をご覧ください。

1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 再生する機器と接続する。（6 ページ）

3 本機の電源を入れる。

本体の I/O ボタンまたはリモコンの I ボタンを押します。

4 再生する機器の電源を入れる。

5 投写する映像を選ぶ。

本機またはリモコンの INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切換パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、▲/▼ ボタンを押し、投写する映像を選びます。信号入力時は右側に [F] が表示されます。^{*1}

または、リモコンの入力を選択して切り替えることができます。

^{*1}：入力 F は対応するオプションアダプターを装着時に、常に [F] が表示されます。（VPL-FHZ120L のみ）

6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

出力先の切り替えは、コンピューターによって異なります。

（例）



7 投写画面を調整する。（14 ページ）

電源を切る

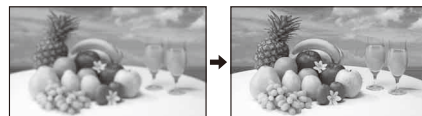
1 本体の I/O ボタンまたはリモコンの I/O ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、スタンバイ状態になります。

2 電源コードを抜く。

投写画面を調整する

画面のフォーカスを調整する（フォーカス）

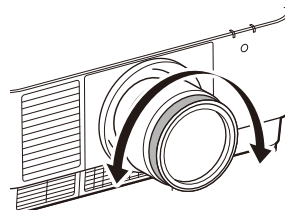


電動フォーカスレンズを装着しているとき

リモコンまたは操作部の FOCUS ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整します。

手動フォーカスレンズを装着しているとき

フォーカスリングを回して調整します。



画面のサイズを調整する（ズーム）

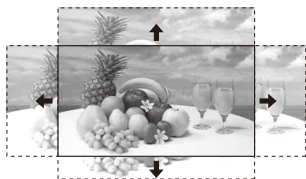


電動ズームレンズを装着しているとき

リモコンまたは操作部の ZOOM ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整します。

画面の位置を調整する（レンズシフト）

リモコンまたは操作部の LENS SHIFT/SHIFT ボタンを押し、▲/▼/◀/▶ ボタンで調整します。

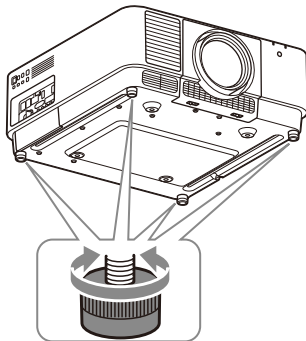


レンズをセンター位置に戻すには

画面の位置を調整中にリモコンの RESET ボタンを押します。

前後の調整脚部で調整する

台が水平でない場合は、前後の調整脚部で調整できます。



ご注意

- ・ 調整脚部で調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・ 調整脚部を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

調整用パターンを表示する

リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面上に調整用パターンを表示することができます。▲/▼でパターンの柄を、◀/▶でパターンの色を変更できます。もう一度 PATTERN ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

スクリーンが傾いている場合や、斜めに投写している場合は、キーストーン補正を行ってください。

上下方向に台形になっている場合

1 リモコンの KEYSTONE ボタンを 1 回押すか、設置設定メニューの「スクリーンフィット」を選択する。(29 ページ)

2 「V キーストーン」を選択する。

3 ◀/▶ で数値を調整する。

数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。



数値をプラス方向に大きくする



数値をマイナス方向に大きくする



RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

*1

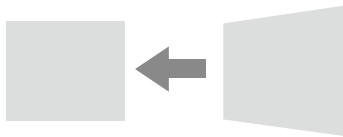
左右方向に台形になっている場合

1 リモコンの KEYSTONE ボタンを 1 回押すか、設置設定メニューの「スクリーンフィット」を選択する。(29 ページ)

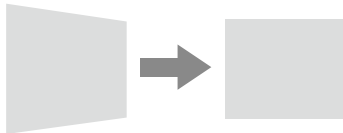
2 「H キーストーン」を選択する。

3 ←/→ で数値を調整する。

数値がプラス方向に大きくなると右辺が小さくなり、マイナス方向に大きくなると左辺が小さくなります。



数値をプラス方向に
大きくする



数値をマイナス方向に
大きくする

RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

*1

*1: スクリーンフィットメニュー項目の調整組み合わせによりリセットできない場合があります。その場合は、スクリーンフィットメニュー全項目をリセットしてください。

ご注意

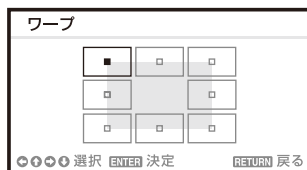
- ・ キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- ・ レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像にゆがみが生じる場合があります。

画面のゆがみを補正する（ワーブ補正）

1 リモコンのKEYSTONE ボタンを 1 回押すか、設置設定メニューの「スクリーンフィット」を選択する。（29 ページ）

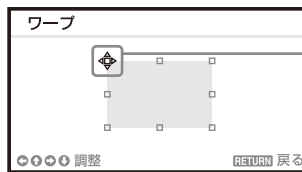
2 「ワーブ」を選択する。

ガイドが表示されます。



2 ENTER ボタンを押す。

カーソル表示に変わります。



3 ↑/↓/←/→ で、コーナーの位置を調整する。

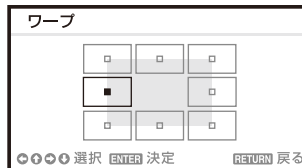


RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

*1

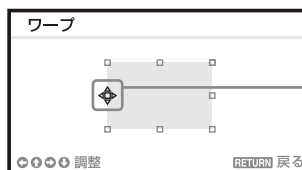
左右の辺のたわみを補正する場合

1 ↑/↓/←/→ で、■ を移動させ、補正を行いたい辺を選択する。



2 ENTER ボタンを押す。

カーソル表示に変わります。



コーナーの位置補正をする場合

1 ↑/↓/←/→ で、■ を移動させ、補正を行いたいコーナーを選択する。

3 ▲/▼/←/→ で、たわみを調整する。

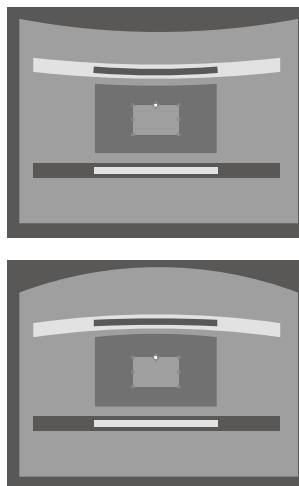
▲/▼ で、たわみの中心の位置を調整できます。←/→ で、たわみの大きさを調整します。左右の辺を、個別に調整することができます。



RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。^{*1}

3 ▲/▼/←/→ で、たわみを調整する。

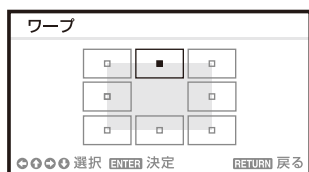
←/→ で、たわみの中心位置を調整できます。▲/▼ で、たわみの大きさを調整します。上下の辺を、個別に調整することができます。



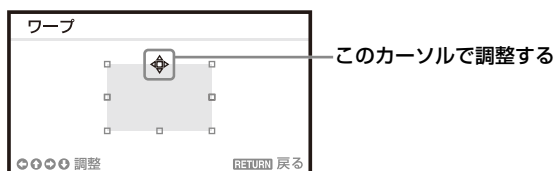
RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。^{*1}

上下の辺のたわみを補正する場合

1 ▲/▼/←/→ で、■を移動させ、補正を行いたい辺を選択する。



2 ENTER ボタンを押す。 カーソル表示に変わります。



^{*1}:スクリーンフィットメニュー項目の調整組み合わせによりリセットできない場合があります。その場合は、スクリーンフィットメニュー全項目をリセットしてください。

複数台で 1 画面を投写する場合

ご注意

- ・ブレンド開始位置やブレンド幅によってはメニュー画面がブレンド部分と重なり見えなくなる場合があります。メニュー画面を見ながら操作したい場合は、いったん「エッジブレンディング」を「切」にして各種調整を行ってください。その後「エッジブレンディング」を「入」にしてください。
- ・ここで示した手順は一例です。設置する状況に合わせて設定してください。
- ・プロジェクターを横に並べて投写する場合、隣同士の排気のため機内温度が上昇し、エラーが表示される場合があります。その際は、プロジェクター間の距離を広げるか、プロジェクターの間に遮蔽物を設置してください。
詳しくは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

1 プロジェクターを設置する。

パターンなどの画像を入力し、設置する複数台のプロジェクターの投写画面の位置を正確に合わせてください。

2 ID モードを設定する。

それぞれのプロジェクターに異なる ID モードを設定してください。(26 ページ)

3 画質モードを設定する。

複数台のプロジェクターの「画質モード」を「マルチスクリーン」に設定します。(21 ページ)

4 カラースペースを合わせる。

複数台のプロジェクターのカラースペースを同じモード(カスタム1~3)に設定します。(22 ページ)
必要に応じてRGBそれぞれの微調整ができます。

5 カラーマッチング調整をする。

必要に応じて階調ごとにカラーの微調整をします。(29 ページ)

6 エッジブレンディング設定をする。

映像を重ねて投写する場合、エッジブレンディングの設定が可能です。

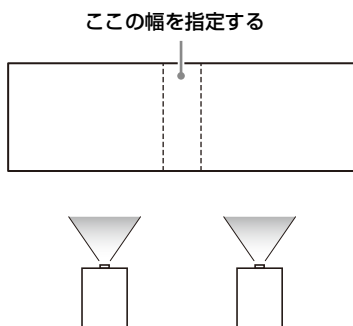
設置設定メニューの「マルチスクリーン」→「エッジブレンディング」を選択してください。(29 ページ)

7 エッジブレンディング機能を有効にする。

設置設定メニューの「ブレンド設定」でブレンドする位置ごとに「エッジブレンディング」を「入」にしてください。(29 ページ)

8 ブレンド幅を指定する。

入力する信号で設定した重ね合わせ領域に合わせるように、ブレンド幅を設定します。



9 映像の重なり部分を微調整する。

設置設定メニューの「ブレンドフィット」で微調整ができます。(29 ページ)

10 黒レベルが各ゾーンで均一になるように調整する。

「ゾーン黒補正」で各補正ゾーンを調整をしてください。調整時は自動的に画面が黒になります。(30 ページ)

便利な機能を利用する

保存した画面設定を選択する(ピクチャーポジション機能)(対象レンズのみ)

リモコンの POSITION ボタンを使うと、あらかじめ保存した6つのレンズ設定(フォーカス、画面の大きさ(ズーム)、画面位置(シフト))を選択できます。設定を選択することで、保存した画面位置に合わせてレンズを動かすことができます。(26 ページ)

1 POSITION ボタンを押す。

ピクチャーポジション選択パレットが表示されます。



2 POSITION ボタンを繰り返し押すか、↑/↓ ボタンを押してレンズの設定を選択する。

メモリ1~6から選択した設定が呼び出されます。

レンズの設定を保存する、または削除するときは、画面モードメニューの「ピクチャーポジション」で行います。(23 ページ)

ご注意

- ・設定を選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に物を置いたり、触れたりしないでください。けがや故障の原因になります。
- ・動作中にリモコンや本体のボタンを押すと、動作が停止します。その場合は再度設定を選択するか、投写位置の調整を行ってください。
- ・ピクチャーポジション機能は、レンズ設定状態の再現を100%保証するものではありません。
- ・対象レンズについては「別売アクセサリ」をご覧ください。(50 ページ)

映像の一部を拡大する(デジタルズーム機能)

リモコンの D ZOOM (デジタルズーム) ボタンを使うと、投写中の映像の一部を拡大できます。この機能は、コンピュータ信号を入力しているときに使用できます。

ご注意

2画面表示をしているときや入力信号の解像度によっては、使用できない場合があります。

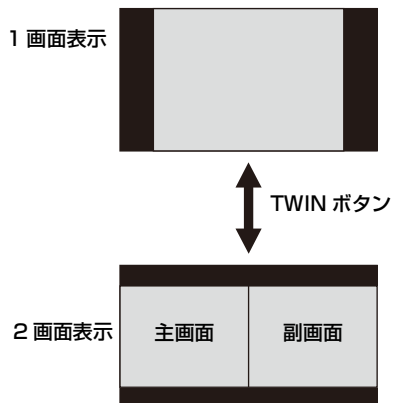
- 1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。
- 2 ↑/↓/←/→ ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。
- 3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM - ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。
拡大率は1倍から4倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

- ・ 1画面時に設定した画質調整が反映されないことがあります。
- ・ 2画面表示中は、I (オン) ボタン、⏻ (スタンバイ) ボタン、INPUT ボタン、BLANK ボタンが使用できます。

2画面同時に投写する (2画面機能)

2つの入力信号を主画面と副画面 (2画面) で同時に投写できます。1画面表示または2画面表示に切り替えるには、リモコンのTWIN ボタンを使用します。




主画面は、入力信号を切り替えることができます。副画面は入力 B (INPUT B) からの固定信号となります。

2画面入力組み合わせ一覧表

主画面	副画面
入力A (RGB/Y Pb Pr)	入力B (RGB)
入力B (RGB)	-
入力C (DVI-D)	入力B (RGB)
入力D (HDMI)	
入力E (HDBaseT)	
入力F (オプションアダプター)	

ご注意

- ・ 「スクリーンアスペクト」 (30 ページ) を「4:3」に設定している場合、2画面表示は使用できません。
- ・ 2画面表示中は、入力切替パレット (14 ページ) に信号の有無  は表示されません。

メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた

ご注意

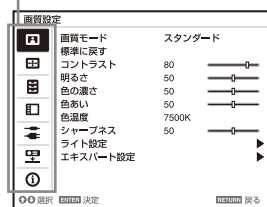
説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なることがあります。あらかじめご了承ください。

1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。

2 設定したいメニューを選ぶ。

▲または▼ボタンを押して設定メニューを選び、▶ボタンまたはENTER ボタンを押します。

設定メニュー

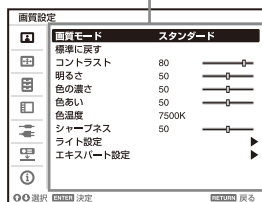


3 設定したい項目を選ぶ。

▲または▼ボタンを押して項目を選び、▶ボタンまたはENTER ボタンを押します。

◀ボタンまたはRETURN ボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

設定項目



4 項目の設定や調整をする。

項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、手順**3**に従って設定や調整をします。項目を設定、または調整中にRESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

ポップアップメニューの操作：

▲/▼/◀/▶ボタンで項目を選びます。

ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

選択項目



設定メニューの操作：

▲/▼ボタンで項目を選びます。

ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

調整メニューの操作：

数値を大きくするときは▲または▶ボタンを押し、数値を小さくするときは▼または◀ボタンを押します。

ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。



5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

設定項目	項目説明
画質モード	ダイナミック ：明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。 スタンダード ：なめらかな階調の自然な画質になります。 輝度優先 ：明るい環境での投写に適した明るい画質になります。 マルチスクリーン ：複数台での投写に適した画質になります。 sRGB ：sRGBの色域を表現した画質になります。(VPL-FHZ120Lのみ)
標準に戻す	画質設定をお買い上げ時の値に戻します。 ただし、「画質モード」と「色温度」のカスタム1、2、3、4の値はお買い上げ時の設定に戻りません。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかかります。
色温度	9300K / 7500K / 6500K ：高い温度ほど映像が青みがかかった色調になり、低い温度ほど赤みがかかった色調になります。 輝度優先 1 ：最も明るい映像の投写が可能です。 輝度優先 2 ：明るい映像の投写が可能です。 カスタム 1 / カスタム 2 / カスタム 3 / カスタム 4 ：好みに合わせて調整した設定を保存できます。 お買い上げ時の値は、「カスタム 1」は「9300K」、「カスタム 2」は「7500K」、「カスタム 3」は「6500K」、「カスタム 4」は「輝度優先 1」と同じ設定になっています。
シャープネス	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
ライト設定	
ダイナミックコントロール	入 / 切 ：入力された映像により輝度が自動調整されます。暗い映像は、輝度を調整して投写することで、省電力につながります。一方、明るい映像は、輝度を調整せず明るく投写します。
ライトモード	光源の明るさを調整します。 標準 ：映像は明るくなり、消費電力が高くなります。 中 ：消費電力が少なくなりますが、映像は暗くなります。 低 ：消費電力がさらに少なくなりますが、映像もさらに暗くなります。 ロング ：暗い映像になりますが長期間の投写が可能になります。 カスタム ：任意の明るさに調整できます。
輝度一定	入 / 切 ：「ライトモード」が「標準」、「中」、「低」、「カスタム」のときに設定できます。各モードの割合を減少させた光源出力（約 85%）にて、一定の輝度で出力します。 埃や汚れが多い環境で使用すると、明るさを維持できなくなる場合があります。
エキスパート設定	
リアリティークリエーション	精細度とノイズ処理を調整してリアルな画像にします。(超解像機能) 入 ：リアリティークリエーションの設定を変更できます。 精細度 ：設定値を上げると、質感やディテール感が向上し、鮮鋭感のある映像になります。 ノイズ処理 ：設定値を上げると、ザラツキ等のノイズが目立たなくなります。 入 / 切 比較 ：「入」「切」が一定周期で切り替わり、リアリティークリエーションの効果を確認することができます。 比較中のステータスの表示位置は「メニュー位置」(26 ページ)の設定に連動します。 切 ：リアリティークリエーション機能をオフにします。
ご注意	
入力信号によりノイズが強調される場合があります。その際には設定を調整してご使用ください。	

設定項目	項目説明
コントラストエンハンサー	<p>シーンに応じた最適なコントラストが得られるよう、明部・暗部のレベルを自動的に補正します。映像のメリハリが増し、躍動感のある映像になります。</p> <p>強/中/弱：コントラストエンハンサーの効果を変更できます。</p> <p>切：コントラストエンハンサー機能をオフにします。</p>
ガンマモード	<p>2.2：2.2乗相当の輝度曲線です。</p> <p>2.4：2.4乗相当の輝度曲線です。</p> <p>ガンマ3：明るさ重視の輝度曲線で比較的明るい環境で使用する際に適しています。</p> <p>ガンマ4：明暗の差がつきやすく比較的暗い環境で使用する際に適しています。</p> <p>DICOM GSDF Sim.：医用におけるデジタル画像と通信（DICOM）規格のグレースケール標準関数（GSDF）に基づいたガンマ設定です。DVI-D 入力端子（入力 C）、HDMI 入力端子（入力 D）、HDBaseT 入力端子（入力 E）から入力されるコンピューター信号に対応します。医療機器ではありませんので、医療診断には使用できません。</p>
カラースペース	<p>色空間を切り替えます。</p> <p>カスタム1：色彩豊かに色を鮮やかに表現する設定です。</p> <p>カスタム2：落ち着いた色彩で表現する設定です。</p> <p>カスタム3：本来の映像ソースの色域に近い設定です。選択した色空間に対して R/G/B を選択して、R/G/B ごとに CIExy 色度図の x、y 方向に色度点を調整することができます。</p> <p>色選択：調整する色を「赤」、「緑」、「青」から選択します。</p> <p>シアン-赤 (x)：シアン-赤 (x) 方向に選択した色の色度点を調整します。</p> <p>マゼンタ-緑 (y)：マゼンタ-緑 (y) 方向に選択した色の色度点を調整します。</p>
カラーコレクション	<p>入：選択した色の色あい、色の濃さ、明るさを調整します。下記の手順1、2を繰り返して調整したい色を決めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ▲/▼で「色選択」を選び、◀/▶で、調整したい色を「赤」、「黄」、「緑」、「シアン」、「青」、「マゼンタ」から選ぶ。 2 ▲/▼ボタンで「色合い」、「色の濃さ」または「明るさ」を選び、投影画面を見ながら ◀/▶ ボタンでお好みの色になるように調整する。 <p>切：カラーコレクション機能をオフにします。</p>
フィルムモード	<p>ビデオ信号入力時に選択できます。</p> <p>プログレッシブ信号入力時には選択できません。</p> <p>オート：映画フィルムの映像を原画に忠実な映像に再現します。通常は「オート」のままお使いください。</p> <p>切：「オート」に設定していて、映像の輪郭がギザギザに見えるときに選んでください。</p>

画面モード

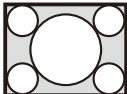
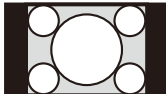
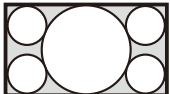
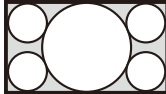
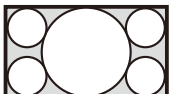
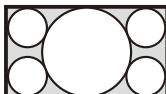
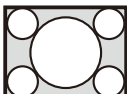
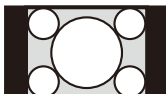


入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

設定項目	項目説明
ピクチャーポジション	レンズの設定（フォーカス、画面の大きさ（ズーム）、画面位置（シフト））の組み合わせとして、ピクチャーポジションを6つまで保存することができます。（26 ページ）フォーカス、画面の大きさ、画面位置を設定後、「保存」、「削除」、または「選択」を行ってください。 【保存】：現在のレンズ設定（フォーカス、画面の大きさ、画面位置）を、選択したメモリ1～6に保存します。すでに調整状態が保存されている場合は上書きします。 【削除】：保存されている状態を削除します。削除されると、「選択」ができなくなります。 【選択】：選択したレンズの設定が呼び出されます。
	ご注意 <ul style="list-style-type: none">・ピクチャーポジションに非対応のレンズを装着している場合は、ピクチャーポジションの項目は選択できません。対象レンズについては「別売アクセサリ」をご覧ください。（50 ページ）・設定を選択、確定するとレンズが動き出します。レンズ付近に触れないでください。けがや故障の原因になります。・動作中にリモコンや本体のボタンを押すと動作が停止します。その場合は再度設定を選択するか、投写位置の調整を行ってください。・ピクチャーポジション機能は、レンズ調整状態の再現を 100% 保証するものではありません。
アスペクト ¹	投写している画面の縦横比が切り替わります。（24 ページ）
コンピューター信号入力時	フル 1 ：入力信号の縦横比を維持して画面いっぱいに投写します。 フル 2 ：画面いっぱいに投写します。 ノーマル ：拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
ビデオ信号入力時	4：3 ：縦横比を 4：3 に固定し、画面いっぱいに投写します。 16：9 ：縦横比を 16：9 に固定し、画面いっぱいに投写します。 フル ：画面いっぱいに投写します。 ズーム ：画面の中心部分を拡大して投写します。
画面位置 上下 ^{2 *3}	画面全体を上下に移動させて調整します。 数値が大きくなると画面が上に動き、小さくなると下に動きます。
縦サイズ ^{2 *3}	映像を縦方向に拡大または縮小します。 数値を大きくすると拡大され、小さくすると縮小されます。字幕付き映画などに表示されている字幕が見えない場合などに「画面位置 上下」と組み合わせて使用します。
オーバースキャン ²	入/切 ：「入」を選ぶと映像の周囲をかくして投写します。映像の端にノイズなどが見える場合に使用します。
入力信号調整 ⁴	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れている場合、映りが悪い場合に調整します。
APA ^{5 *6}	ENTER ボタンを押すと画面が最適になるように自動で調整します。
フェーズ ⁵	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
ピッチ ⁵	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト ⁴	H（水平） ：数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 V（垂直） ：数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

ご注意

- *1: 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 入力信号および「スクリーンアスペクト」の設定によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。
- ・ 選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。
- *2: Y Pb Pr 入力端子（入力 A）または、DVI-D 入力端子、HDMI 入力端子、HDBaseT 入力端子、オプションアダプターから入力されるビデオ信号入力時に選択できます。
- *3: 「アスペクト」が「ズーム」、かつ「スクリーンアスペクト」が「16:10」または「16:9」の場合に選択できます。
- *4: RGB 入力端子（入力 A、入力 B）から入力されるコンピューター信号入力時、または Y Pb Pr 入力端子（入力 A）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。アスペクトをズームに設定した場合のみ使用できます。
- *5: RGB 入力端子（入力 A、入力 B）から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。
- *6: 投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」を調整してください。

アスペクトについて

	入力信号	おすすめの設定値とそのときに投写される映像
コンピューター信号	「4:3」 	「フル1」 ^{*1 *2} 
	「16:9」 	「フル1」 ^{*1 *2} 
	「16:10」 	「フル1」 ^{*1} 
ビデオ信号	「4:3」 	「4:3」 ^{*3 *5} 
	「16:9」 	「16:9」 ^{*4 *5} 

*1: 「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



*2: 「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



*3: 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



*4: 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



*5: 「フル」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



目 機能設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

設定項目	項目説明
スマート APA	入/切 ：「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。 RGB 入力端子（入力 A、入力 B）からコンピューター信号が入力されたときに APA が実行されます。
無信号入力時背景	入力 A、入力 B、入力 C、入力 D のいずれかを選択時に有効です。 ブルー/ブラック/イメージ/入力 G ：信号が入力されていないときの背景を設定できます。 「イメージ」を選ぶと無信号入力時にスタートアップイメージが表示されます。2 画面表示中は、無信号入力時背景が「イメージ」に設定されている場合も背景はブラックになります。 「入力 G」を選ぶと、無信号入力時に入力 G に切り替わります。「入力 G」を選択しても、すぐに設定は反映されません。次回の無信号時に有効化されます。(39 ページ)
スタートアップイメージ	入/切 ：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。
カラーキャリブレーション	経時的に発生した、画面全体の色ずれを補正します。 本モードを実行中は、カラーキャリブレーション用のパターンが表示されます。本体の I/O ボタン、またはリモコンの O ボタンを押すと、パターンが消え、本モードは停止します。 温度、ほこりなどの環境要因や経時的な変化の程度により、色ずれが正しく補正できないことがあります。 オート ：「入」を選ぶと、一定期間使用して電源を切るときに、自動的に画面全体の色ずれを補正します。 開始 ：ライト点灯後に 20 分以上経過している場合、すぐに画面全体の色ずれを補正します。 元に戻す ：前回のカラーキャリブレーション実行時の状態に戻します。カラーキャリブレーションを実行したことがない場合は、選択できません。 標準に戻す ：工場出荷時の状態に戻します。
全初期化	すべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。

操作設定

メニューやリモコンによる操作のための機能を設定します。

設定項目	項目説明
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
メニュー位置	左下／中央 ：メニューを表示する位置を選択します。
画面表示	入 ：すべての画面表示が有効になります。 切 ：メニューの表示、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。 全切 ：一部のメニュー表示以外の画面表示が出なくなります。
ご注意	
・「全切」を選択した場合は、温度の警告メッセージは表示されません。お客様の責任でご使用ください。 ・「全切」を選択したことによって発生した事故や機器の故障に対して補償は一切いたしませんのであらかじめご了承ください。	
リモコン受光部	前&後／前／後 ：利用可能なリモコン受光部の位置を設定します。
ID モード	オール／1／2／3／4 ：本機の設定モードを設定します。「オール」を選ぶと、ID モードに関係なくリモコン操作が可能となります。リモコンの ID モードスイッチも合わせてご覧ください。(5 ページ)
セキュリティロック	入／切 ：パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。 <ol style="list-style-type: none">「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。MENU、///、ENTER の 6 つのボタンを使用してパスワードを入力する。(出荷時は “ENTER, ENTER, ENTER, ENTER” が設定されています。)MENU、///、ENTER の 6 つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。 パスワードは、電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。パスワードの入力に 3 回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、  ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。
ご注意	
パスワードを忘れると、本機を使用できません。充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とおお客様の確認が必要になります。(確認方法は、販売国／地域によって異なります。)	
操作キーロック	入／切 ：「入」を選ぶと、操作部での操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none">スタンバイ状態で、 ボタンを約 10 秒押す。 →電源が入ります。電源が入った状態で、MENU ボタンを約 10 秒押す。 →操作キーロックが「切」になり、操作部で操作が可能になります。
レンズコントロール	入／切 ：「入」を選ぶと、レンズの調整（「フォーカス」、「ズーム」、「レンズシフト」）をリモコンまたは操作部から操作ができます。調整終了後、誤操作などを防止したい場合は、「切」を選んでください。

接続／電源設定

接続、電源に関わる機能を設定します。

設定項目	項目説明
ネットワーク設定	
IPv4 設定 ^{*1 *3}	
IP アドレス設定	自動 (DHCP) ：ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 手動 ：手動でネットワークを設定します。
IP アドレス／サブ ネットマスク／デ フォルトゲートウエ イ／プライマリ DNS／セカンダリ DNS	IP アドレス設定で「手動」を選んだときに、◀または▶で入力する項目を選び、▲または▼で値を入力します。すべての入力が終了したら「適用」を選び、ENTER ボタンを押すと設定が有効になります。
IPv6 情報	IPv6 アドレス情報を表示します。 IPv6 アドレス設定を行う場合は、ウェブブラウザから設定してください。(37 ページ)
HDBaseT 設定	
LAN 設定	HDBaseT 経由／LAN 端子 ：HDBaseT 端子に接続された HDBaseT 機器の LAN 経由か、本体の LAN 端子のネットワーク接続を選択できます。 ^{*2 *3}
RS-232C 設定	HDBaseT 経由 ：HDBaseT トランスミッター経由で RS-232C を接続できます。(ボーレート：9600 bps) RS-232C ：本機の RS-232C 端子に直接接続する場合に設定します。(ボーレート：38400 bps)
ダイナミックレンジ ^{*4}	入力 C/D/E/F 端子の映像入力レベルを設定します。 オート ：自動で映像入力レベルを判別します。 リミテッド ：映像入力レベルが、16-235 のときに設定します。 フル ：映像入力レベルが、0-255 のときに設定します。
HDMI ケーブル	ロング／ノーマル ：画乱れや映像が映らないなどの症状があるときは、「ロング」を選んでください。
入力 A 信号種別	オート／コンピューター／ビデオ GBR／コンポーネント ：「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。 ^{*5}
入力 G コンテンツ選択	USB／ネットワーク ：HTML ビューアーに対するコンテンツの設定をします。USB メモリー経由、またはネットワーク経由のどちらかを選択してください。(39 ページ)
省エネ設定	
オートパワーセービング ^{*6}	
無信号時設定	ライトオフ ：本体に信号が入力されない状態が約 2 分続くと、自動的にライトオフし消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びライトが点灯します。ライトオフ状態では、ON/STANDBY インジケータはオレンジ色に点灯します。(42 ページ) スタンバイ^{*7} ：本体に信号が入力されない状態が約 2 分続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 切 ：無信号時設定機能を無効にします。
信号無変化時設定	ライト減光^{*8 *9} ：本体に入力されている映像に変化がない状態が約 10 秒続くと、ライトモードの設定からライト出力の低減 (約 10%～15% ^{*10}) を徐々にいき、意識せずに消費電力を少なくすることができます。また、任意の設定時間 (5 分／10 分／15 分／20 分／デモ) の入力信号無変化検出により、自動的に約 30% のライト出力へ徐々に減光します。また、減光中は「ライト減光」のお知らせが表示されます。「デモ」を選択した場合、約 40 秒程度で減光を開始します。信号変化または、操作 (リモコン／操作部) を検出すると、元の明るさに戻ります。 切 ：信号無変化時設定機能を無効にします。
スタンバイモード ^{*11}	標準／低 ：「標準」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が高くなります。詳しくは、「主な仕様」の「待機電力 (ネットワークスタンバイモード)」を参照してください。(49 ページ)

設定項目	項目説明
クイックリスタート	切 / 10分 / 30分 ：電源を切ったあと、指定の時間（10分 / 30分）の間すぐに起動できるように待機します。待機中は、ON/STANDBY インジケータはオレンジ色に点灯します。（42 ページ）
ダイレクトパワーオン	入 / 切 ：「入」を選んで電源コードをコンセントに差し込むと、スタンバイ状態に移行しないで投写が始まります。また、電源を切るときも、スタンバイに移行しないで電源コードを抜くことができます。本機は、スタンバイに移行しない状態で電源コードを抜いても問題ありません。

- *1：本機の IP アドレスを手動で設定するには、ネットワークに接続してから設定してください。ネットワークに接続されていない場合、設定は反映されません。
- *2：HDBaseT 経由時は 100BASE-TX のみでの接続となります。本体 LAN 端子使用時は 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T で接続できます。
- *3：HDBaseT 用 IP アドレスと LAN 端子用 IP アドレスは、個別に設定する必要があります。
 - ・ HDBaseT 経由 LAN の IP アドレス設定方法
「HDBaseT 設定」で「LAN 設定」を「HDBaseT 経由」に設定してから「ネットワーク設定」で IP アドレスを設定してください。
 - ・ LAN 端子用 IP アドレス設定方法
「HDBaseT 設定」で「LAN 設定」を「LAN 端子」に設定してから「ネットワーク設定」で IP アドレスを設定してください。
- *4：HDMI 接続機器の映像出力設定が合っていないと、明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなりすぎたりします。
- *5：入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。
- *6：入力 G（INPUT G）では、「オートパワーセービング」機能は動作しません。
- *7：無入力信号時に自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合は、設定を「切」にしてください。
- *8：入力されている映像により信号変化 / 無変化を検出できない場合があります。無信号時設定が有効の場合は、その動作が優先されます。
- *9：ライト減光は、時間をかけて徐々に行われるので、減光されていることに気づかない場合があります。
- *10：「ライトモード」の設定により異なります。（21 ページ）
- *11：「スタンバイモード」が「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使用できなくなります。

🔧 設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

設定項目	項目説明
スクリーンフィット	設置による歪みやスクリーンから映像がはみ出したりする場合に投写映像の歪みを調整します。 キーストーン／ワープ／リニアリティ補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。 ワープ ：任意の調整点を選択して、上下左右に移動することで画像歪みを調整します。 V キーストーン ：垂直方向の台形歪みを調整します。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。 ¹ H キーストーン ：水平方向の台形歪みを調整します。数値がプラス方向に大きくなると画面の右側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の左側の幅が小さくなります。 ¹ V リニアリティ ：中心から上下の長さが等しくなるように調整します。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の間隔が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の間隔が小さくなります。 H リニアリティ ：中心から左右の長さが等しくなるように調整します。数値がプラス方向に大きくなると画面の右側の間隔が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の左側の間隔が小さくなります。 リセット ：スクリーンフィットのすべての調整項目がリセットされます。
マルチスクリーン	複数台で1画面を構成する際、映像の一部を重ね合わせたり、画面をタイル状に並べるときに調整します。
カラースペース	色空間を切り替えます。画質設定メニューの「カラースペース」(22ページ)と同じ調整ができます。「画質モード」が「sRGB」の場合は「sRGB」モード単独で、他のモードの場合は共通での色域調整となります。
カラーマッチング	投写映像全体の明るさと色味を調整します。 「明るさ」や「カラー」の調整を行っても完全に一致しない場合があります。 調整 ：6段階の信号レベルの中からレベルを選択し、明るさや色味を調整します。 レベル 1～6 ：調整する輝度レベルを選択します。 明るさ ：選択した輝度レベルの明るさを調整します。 カラー ：選択した輝度レベルの色味を調整します。 リセット ：調整した値がすべてリセットされます。
エッジブレンディング	リセット ：ブレンド設定、ブレンドフィット調整値、ゾーン黒補正がすべてリセットされます。
ブレンド設定	画面の左右上下ごとにエッジブレンディング設定を行います。 左/右/上/下 ：それぞれの位置について、エッジブレンディング効果を設定します。 エッジブレンディング ：「入」にすると「ブレンド幅」と「ブレンド開始位置」を設定できます。 ブレンド幅 ：映像を重ね合わせる幅を設定します。 ブレンド開始位置 ：映像を重ね合わせる開始位置を設定します。 ブレンドカーソル ：エッジブレンディングの開始と終了を示す位置にカーソルを表示します。「入」に設定すると、ブレンド設定中にカーソルを表示します。 開始位置色 ：開始位置を示すカーソル色を選択します。 終了位置色 ：終了位置を示すカーソル色を選択します。 リセット ：ブレンド設定の値がすべてリセットされます。
ブレンドフィット	映像の重なり部分を微調整します。 調整 ：映像が重なったエリアで位置を指定して画素を移動します。 ▲/▼/◀/▶で調整する位置を選択します。ENTER ボタンで位置を決定し、▲/▼/◀/▶で上下左右に画素を移動させ、隣り合う映像と映像が重なるように調整します。 リセット ：ブレンドフィット調整値がすべてリセットされます。

設定項目	項目説明
ゾーン黒補正 ^{2 *3 *4}	<p>暗い映像を表示したときに、重ね合わせた部分が明るく目立たないように調整します。 「補正ゾーン1」～「補正ゾーン9」から調整する領域を選択して、調整値を設定します。</p> <p>ゾーン補正：各補正ゾーンの領域を調整します。</p> <p>調整：各補正ゾーンの境界線の位置を指定します。</p> <p>▲/▼/◀/▶で調整する位置を選択します。ENTER ボタンで位置を決定し、▲/▼/◀/▶で上下左右に画素を移動させ、各補正ゾーンの領域を調整します。</p> <p>リセット：ゾーン補正の値がすべてリセットされます。</p> <p>黒補正：各補正ゾーンの明るさを調整します。</p> <p>リセット：黒補正の値がすべてリセットされます。</p> <p>リセット：ゾーン黒補正の値がすべてリセットされます。</p>
イメージプリット	<p>切/左エリア/右エリア：入力されたコンピューター信号を2分割し、その左または右エリアを拡大して表示します。</p> <p>スクリーンアスペクトが16:10に設定され、入力信号が16:10または16:9の場合に正しいアスペクトで投写できます。また、2画面表示中は本機能は動作しません。</p>
画像反転	上下左右/左右/上下/切/オート ：設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
高地モード	入/オート ：高地（海拔1500 m以上）で使用する場合、「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
フィルタークリーニング	<p>電源を切り、スタンバイ状態でエアフィルタークリーニングを行います。</p> <p>フィルタークリーニングは、通常は電源を切る際、周期的に自動で行われます。ただし、「ダイレクトパワーオン」を「入」に設定する(28ページ)と、フィルタークリーニングは自動で行われないため、定期的に上記メニューから「フィルタークリーニング」を行うことをおすすめします。また、直接AC電源を切断したり、下図の角度で設置したりするときは、フィルタークリーニングは行われません。</p>
	
スクリーンアスペクト	16 : 10 / 16 : 9 / 4 : 3 ：使用するスクリーンに応じて、投写する表示範囲を切り替えます。
ブランキング	<p>画面の上下左右の表示領域を調整します。</p> <p>アスペクト設定、スクリーンアスペクト設定などで画面の内側に表示している場合は、ブランキングがかからない場合があります。</p> <p>▲/▼ ボタンで変更したいスクリーンの側面を「左」「右」「上」「下」の中から選択します。</p> <p>◀/▶ ボタンでブランキング量を調整します。</p>
パネルアライメント	<p>文字や映像の色ずれを微調整します。</p> <p>「入」にすると、「調整色」の指定や「調整パターン色」の指定を行い調整することができます。</p> <p>調整値によっては、色付きや解像度に変化が生じる場合があります。</p> <p>調整アイテム：調整方法を以下より選択します。</p> <p>シフト：画面全体をシフトして調整します。</p> <p>ゾーン：調整したい範囲を指定して調整します。</p> <p>調整色：色ずれの気になる色を指定します。「G」（緑）を基準に調整するため、「R」（赤）または「B」（青）を選択します。</p> <p>調整パターン色：「調整色」が「R」（赤）の場合は、「R/G」（赤と緑）または「R/G/B」（白、全色）を選択します。「調整色」が「B」（青）の場合は、「B/G」（青と緑）または「R/G/B」（白、全色）を選択します。</p> <p>調整：「調整色」で選択した色のシフト調整およびゾーン調整を、▲/▼/◀/▶ ボタンで行います。</p> <p>リセット：パネルアライメントの設定値を初期状態に戻します。</p>

設定項目	項目説明
ユニフォミティ	<p>画面の色むらを調整します。</p> <p>12段階の輝度レベルからレベルを選択します。さらに、調整する範囲を選択して色味を調整します。</p> <p>レベル：調整する輝度レベル（0～11）を選択します。</p> <p>調整範囲：左上：調整範囲の左上の点を選択します。</p> <p>調整範囲：右下：調整範囲の右下の点を選択します。</p> <p>R：選択した調整範囲の赤のレベルを調整します。</p> <p>G：選択した調整範囲の緑のレベルを調整します。</p> <p>B：選択した調整範囲の青のレベルを調整します。</p> <p>リセット：調整した値がすべてリセットされます。</p>

*1：レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像にゆがみが生じる場合があります。

*2：「ゾーン黒補正」は調整対象領域以外の調整はできません。

*3：「ゾーン黒補正」の補正ゾーンを選択したとき、補正対象領域が2回点減します。

*4：ゾーン補正の調整に入るときは、領域の分割状態を示すために画面全体が2回点減します。

① 情報

ライトの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
fH (水平周波数) / fV (垂直周波数)	現在入力されている信号の水平周波数 / 垂直周波数 / 信号の種類を表示します。 入力信号によって表示されない場合があります。
ライト使用時間	これまでのライトの使用時間を表示します。

ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用する

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。

- ・ プロジェクターの現在の状況を確認する。
- ・ プロジェクターを遠隔操作する。
- ・ プロジェクターからメールレポートを受け取る。
- ・ プロジェクターのネットワーク設定を行う。
- ・ 各種ネットワーク監視、制御プロトコル(Advertisement、ADCP、PJ Talk、PJ Link、SNMP、AMX DDDP (Dynamic Device Discovery Protocol)、Crestron RoomView)に対応。
- ・ HTML ビューアー機能を使用する。
- ・ HTML ビューアー用に時刻設定を行う。
- ・ ネットワーク設定を初期値の状態にする。
- ・ ソフトウェアアップデート機能を利用する。

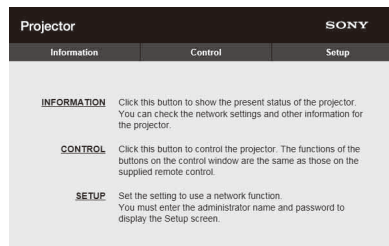
ご注意

- ・ 本機をネットワークに接続する際には、ネットワーク管理者にご相談ください。また、セキュリティ対策されたネットワーク環境でご使用ください。
- ・ プロジェクターをネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定から変更してください。(33 ページ) また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- ・ ブラウザーでの設定作業が完了したら、ログアウトするためにブラウザを閉じてください。
- ・ 使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer (バージョン 11 以降)、Safari (バージョン 11 以降) です。
- ・ 表示可能言語は英語のみです。
- ・ コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- ・ SNMP、AMX DDDP、Crestron RoomView は IPv6 に非対応です。
- ・ 説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

- 1 LAN ケーブルをつなぐ。(9 ページ)
- 2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。
「接続／電源設定」メニューの「ネットワーク設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください。(27 ページ)
- 3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。
http://xxx.xxx.xxx.xxx
(xxx.xxx.xxx.xxx : プロジェクターの IP アドレス)
IPv6 アドレスで接続する場合
http://[xxxx:xxxx: ~ xxxx]
プロジェクターの IP アドレスは、「接続／電源設定」メニューの「ネットワーク設定」で確認できます。(27 ページ)

ブラウザにコントロール画面が表示されます。

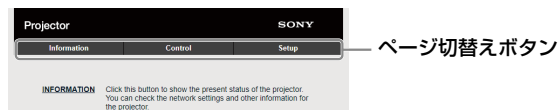


一度ネットワーク設定を行うと、次回からは手順 3 の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面を操作する

ページを切り替える

ページ切替えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。



アクセス制限を設定する

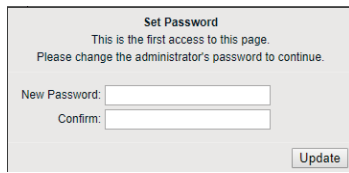
各ページの利用者を次のように制限できます。

- 管理者**：すべてのページにアクセス可能。
- ユーザー**：Setup ページ以外にアクセス可能。

初めて Setup ページにアクセスするときは、認証ダイアログのユーザー名に「root」、パスワードに「Projector」を入力してください。

初めてログインすると、パスワードの変更を求める画面が表示されます。画面に表示される手順に沿ってパスワードを変更してください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。

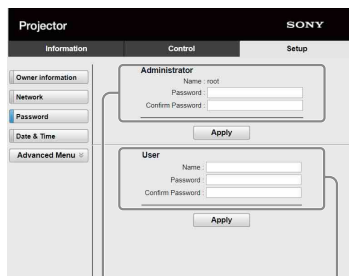


Set Password
This is the first access to this page.
Please change the administrator's password to continue.

New Password:

Confirm:

Update



Projector SONY

Information Control Setup

Owner Information
Administrator
Name: root
Password:
Confirm Password:
Apply

User
Name:
Password:
Confirm Password:
Apply

「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

パスワードは、Setup ページ内の Password ページから変更できます。

管理者、ユーザーパスワードは、英字と数字の両方を含む 8 桁以上 16 桁以内で設定してください。英字の大文字、小文字は区別されます。

初期パスワード「Projector」を新しいパスワードとして設定することはできません。

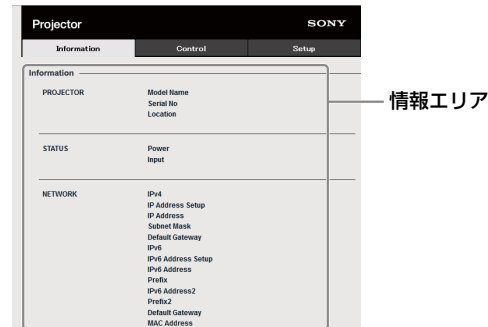
ご注意

パスワードを忘れたときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

その際、お客様の同意を得た上でパスワードを再設定させていただきます。

プロジェクターの状態を確認する

Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。



Projector SONY

Information Control Setup

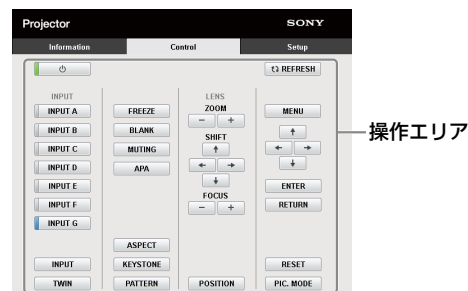
Information

PROJECTOR	Model Name Serial No Location
STATUS	Power Input
NETWORK	IPv4 IP Address Setup IP Address Subnet Mask Default Gateway IPv6 IPv6 Address Setup IPv6 Address IPv6 Address2 Prefix Default Gateway MAC Address

情報エリア

プロジェクターを操作する

Control ページからプロジェクターを操作します。各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じです。



Projector SONY

Information Control Setup

INPUT A INPUT B INPUT C INPUT D INPUT E INPUT F INPUT G

FREEZE BLANK MUTE APA

LENS ZOOM SHIFT FOCUS

MENU ENTER RETURN

ASPECT KEYSTONE TWIN

POSITION PIC.MODE

操作エリア

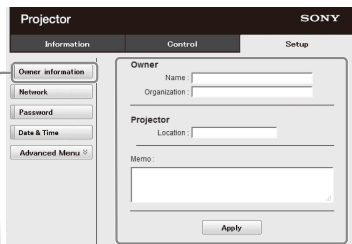
メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

ご注意

- ・ Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- ・ 文字列が入力できるボックスに「|」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

- 1 Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力する。

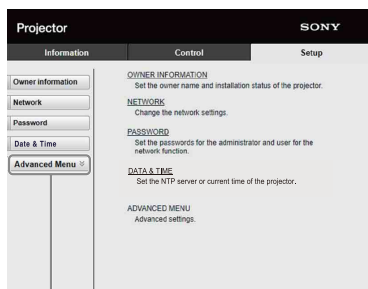


Owner information
ボタン

- 2 Advanced Menu ボタンを押し、次に E-mail ボタンを押して E-mail ページを開く。

メールレポートのタイミングを設定します。

Maintenance Reminder : 任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。



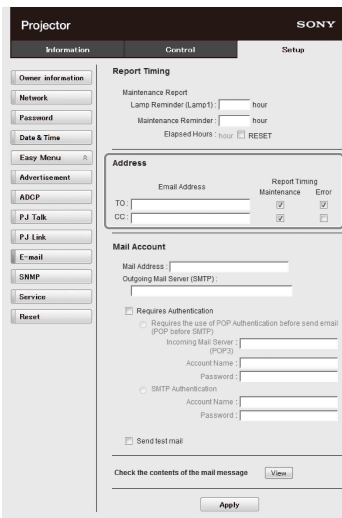
Advanced Menu ボタン



E-mail ボタン

- 3 送信先メールアドレスを入力する。

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。



- 4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

Mail Address : メールアドレスを入力します。

Outgoing Mail Server (SMTP) : 送信メールサーバー (SMTP) のアドレスを入力します。

Required Authentication : メール送信に認証が必要な場合にチェックします。

Requires the use of POP Authentication before send e-mail (POP before SMTP) : メール送信時に POP 認証を行う場合にチェックします。

Incoming Mail Server (POP3) : POP3 認証で 사용되는受信メールサーバー (POP3) のアドレスを入力します。

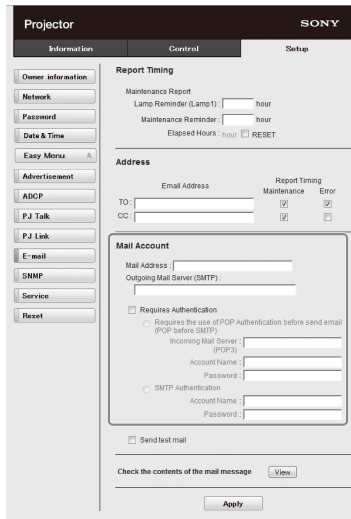
Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。

SMTP Authentication : メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックします。

Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。



5 メールレポートの内容を確認する。

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されます。



6 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

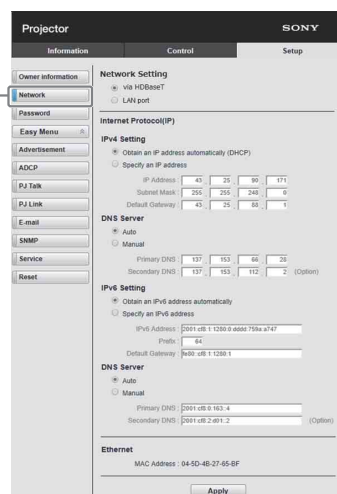


ネットワーク設定を行う

「接続／電源設定」メニューの「ネットワーク設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行うことができます。また、Setup ページでもネットワーク機能を設定することが可能です。

Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 Network ボタンを押し、Network ページを開く。



Network ボタン

2 Network Setting を設定する。

Via HDBaseT : HDBaseT 端子の設定を行います。
LAN port : LAN 端子の設定を行います。

3 Internet Protocol を設定する。

(a) IPv4 アドレス / IPv6 アドレス

Obtain an IP address automatically (DHCP) :

DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスを自動で割り当てます。

Specify an IP address : 手動でネットワークを設定します。

- IP Address : プロジェクターの IP アドレスを入力します。
- Prefix : IPv6 の場合、プレフィックス長 (bit) を入力します。
- Subnet Mask : プロジェクターのサブネットマスクを入力します。
- Default Gateway : プロジェクターのデフォルトゲートウェイを入力します。

(b) DNS server

Auto : DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスを自動で割り当てます。

Manual

- Primary DNS : プロジェクターのプライマリー DNS サーバーを入力します。
- Secondary DNS : プロジェクターのセカンダリー DNS サーバーを入力します。

4 Ethernet を設定する。

MAC Address : プロジェクターの MAC アドレスが表示されます。

ご注意

本機では、HDBaseT 端子、LAN 端子ごとに異なる MAC アドレスが割り当てられています。

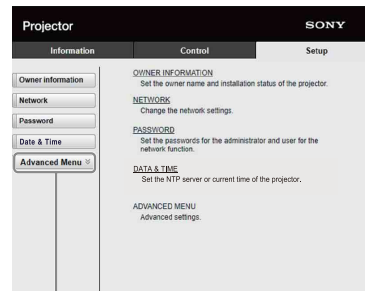
DHCP サーバーから IP アドレス、DNS を割り当てる場合、HDBaseT 端子、LAN 端子ごとに IP アドレス、DNS は異なります。

プロジェクターの制御プロトコルを設定する

Setup ページから制御プロトコルの設定を変更します。

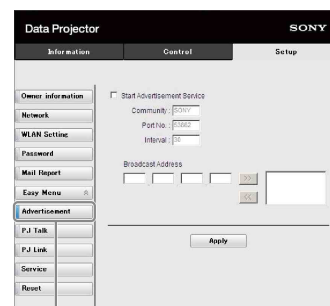
Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 Advanced Menu ボタンを押し、Setup ページを開く。



Advanced Menu ボタン

2 Advertisement ボタンを押し、Advertisement ページを開く。



Advertisement ボタン

Start Advertisement Service : Advertisement のオン、オフを設定します。Advertisement に関する設定項目は、オンにした場合にのみ反映されます。工場出荷時はオンに設定されています。

- Community : Advertisement と PJ Talk のコミュニティ名を入力します。変更すると、PJ Talk のコミュニティ名も変更されます。入力は 4 文字の英数字のみです。工場出荷時は「SONY」に設定されています。他のコンピューターによるプロジェクターへの不要なアクセスを避けるため、コミュニティ名を工場出荷時の設定から変更することを推奨します。
- Port No. : Advertisement の送信ポートを入力します。工場出荷時は「53862」に設定されています。
- Interval : Advertisement の送信間隔 (秒) を入力します。工場出荷時は「30」に設定されています。
- Broadcast Address : Advertisement によるデータの送信先を入力します。何も入力しない場合は、同一サブネット内にブロードキャストします。

3 ADCP ボタンを押し、ADCP ページを開く。



ADCP ボタン

Start ADCP Service : ADCP のオン、オフを設定します。ADCP に関する設定項目は、オンにした場合にのみ反映されます。工場出荷時はオンに設定されています。

- **Requires Authentication** : ADCP の認証機能のオン、オフを設定します。パスワードは Web ページの管理者のパスワードが設定されます。
- **Port No.** : ADCP のサーバーポートを入力します。工場出荷時は「53595」に設定されています。
- **Timeout** : ADCP の通信が途絶えた場合に接続を切断するまでの時間 (秒) を入力します。工場出荷時は「60」に設定されています。
- **Host Address** : ADCP のサーバーが受信許可する IP アドレスを入力します。何も入力しない場合は、どの IP アドレスからもコマンドの受信を許可します。IP アドレスを入力された時点で、入力された IP アドレスからのみアクセスを許可ようになります。セキュリティ上、IP アドレスを入力し、アクセスを制限することを推奨します。

4 PJ Talk ボタンを押し、PJ Talk ページを開く。



PJ Talk ボタン

Start PJ Talk Service : PJ Talk のオン、オフを設定します。PJ Talk に関する設定項目は、オンにした場合にのみ反映されます。工場出荷時はオフに設定されています。

- **Community** : Advertisement と PJ Talk のコミュニティ名を入力します。変更すると、

Advertisement のコミュニティ名も変更されます。入力は 4 文字の英数字のみです。工場出荷時は「SONY」に設定されています。他のコンピューターによるプロジェクターへの不要なアクセスを避けるため、コミュニティ名を工場出荷時の設定から変更することを推奨します。

- **Port No.** : PJ Talk のサーバーポートを入力します。工場出荷時は「53484」に設定されています。
- **Timeout** : PJ Talk の通信が途絶えた場合に接続を切断するまでの時間 (秒) を入力します。工場出荷時は「30」に設定されています。
- **Host Address** : PJ Talk のサーバーが受信許可する IP アドレスを入力します。何も入力しない場合は、どの IP アドレスからもコマンドの受信を許可します。IP アドレスを入力された時点で、入力された IP アドレスからのみアクセスを許可ようになります。セキュリティ上、IP アドレスを入力し、アクセスを制限することを推奨します。

5 PJ Link ボタンを押し、PJ Link ページを開く。



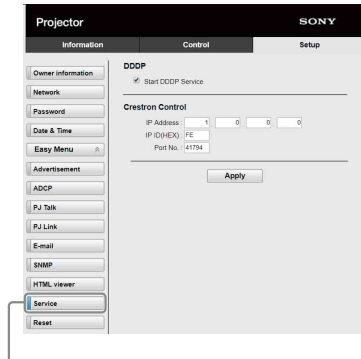
PJ Link ボタン

Start PJ Link Service : PJ Link 機能のオン、オフを設定します。PJ Link に関する設定項目は、オンにした場合にのみ反映されます。工場出荷時はオンに設定されています。

- **Requires Authentication** : PJ Link の認証機能のオン、オフを設定します。
- **Password** : PJ Link の認証パスワードを入力します。工場出荷時のパスワードは PJ Link の仕様を参照してください。

6 Service ボタンを押し、Service ページを開く。

システムサービス機能を設定します。



Service ボタン

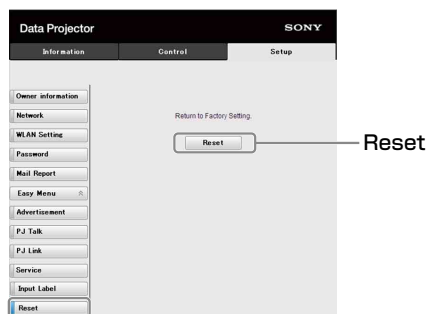
Start DDDP Service : DDDP 機能のオン、オフを設定します。詳細は、AMX Corporation の DDDP プロトコルの仕様を参照してください。工場出荷時はオフに設定されています。

Crestron Control : 詳細は、Crestron Corporation の商品カタログなどを参照してください。

- **IP Address** : Crestron システムのサーバーを入力します。
- **IP ID(HEX)** : CIP プロトコルの IP ID(HEX) を入力します。
- **Port No.** : CIP プロトコルのサーバーのポート番号を入力します。

ネットワーク設定を初期値の状態にする

ネットワーク設定を工場出荷状態に戻します。



Reset ボタン

Reset : ウェブブラウザから設定できる項目全てを工場出荷時の状態にします。

HTMLビューアー機能について

本機に信号が入力されていないとき、または本機を操作していないときの背景として、HTML ビューアー（入力 G）を設定できます。

HTML ビューアーを使用する場合は、「機能設定」メニューの「無信号入力時背景」で「入力 G」を選択してください。

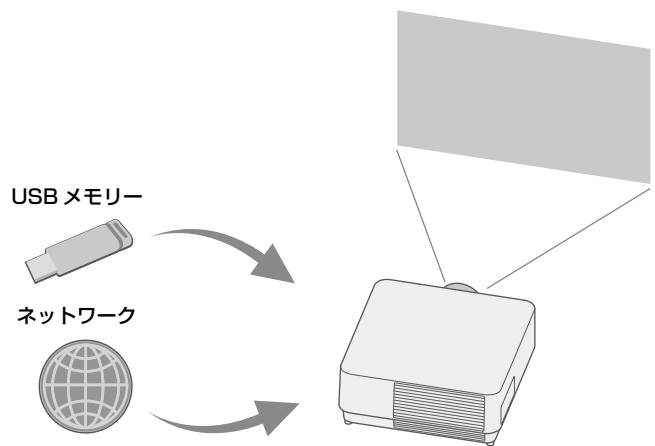
無信号を検出すると、自動的に入力 G に切り替わります。また、入力信号を検出した場合は、再度、入力 G から元の入力に切り替わります。

静止画の推奨フォーマット (タグなどにて使用)

フォーマット	解像度
JPEG	~ 1920×1080
PNG	
BMP	
GIF	

HTML ビューアー機能は、入力 G で表示されます。リモコンの入力ボタンなどにより、入力 G に切り替えてください。

HTML ファイルは、ネットワーク経由または USB メモリーから読み込むことが可能です。



コンテンツについて

- ・コンテンツは 1920×1080 固定の解像度で表示されます。
- ・HTML ビューアーで使用される時刻は、Date & Time ページで設定可能です。(41 ページ)
- ・コンテンツの再読み込みは、リモコンまたは本体の ENTER ボタンで行うことができます。

USB メモリーの HTML コンテンツを HTML ビューアーに表示する

- 1 「接続/電源設定」メニューの「入力 G コンテンツ選択」を「USB」に設定する。(27 ページ)
- 2 HTML コンテンツを用意する。

HTML コンテンツはタイトル、画像、テキストなどを含み、ファイル名を index.html と指定します。

3 HTML コンテンツを USB メモリーのルートフォルダーに格納する。

ルートフォルダーは、USB メモリーのトップ階層を示します。

4 本体の USB 端子に USB メモリーを差し込む。(4 ページ)

ネットワーク経由で HTML コンテンツを HTML ビューアーに表示する

1 「接続／電源設定」メニューの「入力 G コンテンツ選択」を「ネットワーク」に設定する。(27 ページ)

2 ネットワークを設定する。(27 ページ)

3 ネットワーク上の HTML コンテンツの場所を指定する。

HTML ビューアーを設定する



HTML Viewer ボタン

Read the HTML contents from inserted USB memory : HTML ファイルを USB メモリーから読み込みます。

Playback contents from URL (HTTP server) : HTML ファイルをネットワーク経由で読み込みます。

URI : ネットワーク経由で読み込む場合、コンテンツの場所 (URI) を入力します。

Address : ネットワーク経由で読み込む場合、ネットワーク内で使用するプロキシサーバーのアドレスを入力します。

次の例のように http などのスキーム (先頭部分) は入力せず、アドレスを直接入力してください。

例 : sample_proxy.proxy.com

Port : ネットワーク経由で読み込む場合、ネットワーク内で使用するプロキシサーバーのポートを入力します。

URL Control Access List*1 : HTML ファイルがアクセスする URL を入力します。

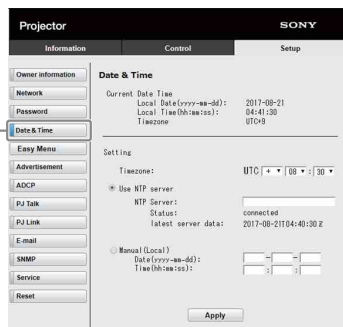
*1 : URI に入力したものも含めて HTML ファイルがアクセスする URL は、すべて入力してください。入力していない URL へのアクセスはブロックされるため、コンテンツは表示できません。

ご注意

- ・「機能設定」メニューの「無信号入力時背景」で「入力 G」に設定していても、2 画面表示中の背景は黒になります。
- ・本機では 8 GB までの USB2.0 メモリーで動作を確認していません。ただし、すべての USB メモリーでの動作を保証するものではありません。
- ・USB メモリーのフォーマット (初期化) を行う場合は、必ずファイルシステム FAT32 で行ってください。それ以外で初期化すると、本機では使用できません。
- ・本機と同等の言語をサポートしますが、特殊文字などは表示できない場合があります。また、フォントや言語の追加はできません。
- ・HTML コンテンツは、512 MB 未満に抑えてください。512 MB を超えると、正しく表示できない場合があります。
- ・コンテンツの種類、ネットワーク環境により、読み込みに時間がかかるなど品質に影響が出る場合があります。
- ・HTML ビューアーのご使用時は、「オートパワーセービング」機能は動作しません。(27 ページ)
- ・コンテンツ上に表示されたボタンやリンクの選択など、操作を行うためのインターフェースを備えていません。したがって、警告や認証などのウィンドウやダイアログを閉じることはできません。
- ・また、画面スクロールなどを実施することもできません。コンテンツサイズは、プロジェクターの画面サイズに合うように、HTML コンテンツ側で設定してください。
- ・本機には、プラグインなどのブラウザ拡張機能をインストールすることはできません。
- ・SSL や TLS などのプロトコルで暗号化されている場合は、コンテンツを表示できません。

時刻設定を行う (HTML ビューアー用)

HTML ビューアー用に日付と時刻を設定できます。設定した日付・時刻を入力 G (HTML ビューアー) で使用します。時刻は、Manual (Local) または NTP Server でも設定できます。



Date & Time ボタン

Current Date Time : 現在設定されている日時をローカル時間で表示します。

Setting : 以下の項目を入力して日時を設定します。

- **Timezone** : タイムゾーンを設定します。サマータイムには対応していません。
- **Use NTP server** : ネットワーク経由 (NTP サーバー) で時刻を取得する場合に選択します。
- **NTP Server** : NTP サーバーを入力します。
- **Status** : NTP サーバーとの接続状態を表示します。
- **latest server data** : NTP サーバーから最後に取得した情報を表示します。

Manual(Local) : 日時を手動で設定する場合に選択します。

Date(yyyy-mm-dd) : 日付を入力します。

Time(hh:mm:ss) : 時刻を入力します。

ソフトウェアアップデート機能を利用する

ネットワーク経由で本機のアップデートを行うことができます。

アップデート用のファイルは、ソニーのホームページからダウンロードできます。詳細は、「ソフトウェアのアップデートを行う」をご覧ください。(48 ページ)

ご注意

本機の電源状態が STANDBY のときにのみ、ネットワーク経由でのソフトウェアアップデートが可能です。

1 SW Update ボタンを押し、SW Update ページを開く。



SW Update ボタン

System Info. : ソフトウェアのバージョン番号を確認できます。

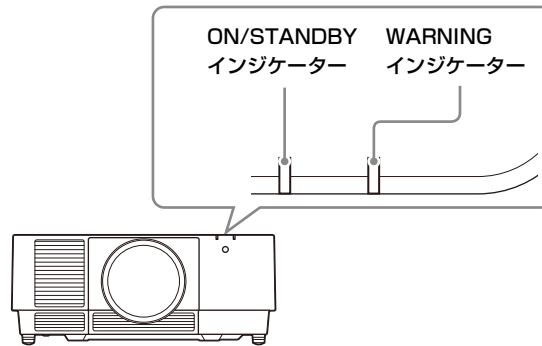
Power status : 本機の電源状態を確認できます。

Select File : アップデートを行うファイルを選択します。

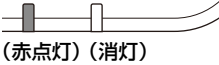
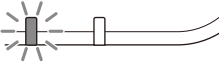
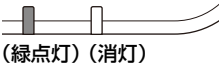

困ったときは

インジケータの見かた

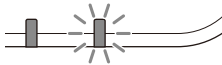
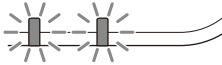
本機では、本体前面の ON/STANDBY インジケータと WARNING インジケータの点灯・点滅により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。インジケータが赤色に点滅している場合は、「警告表示と対処方法」(43 ページ)に従って対処してください。



動作状態の表示

インジケータの状態	動作状態	意味
 (赤点灯) (消灯)	スタンバイ状態	本機に通电されており、設定により各種待機となっている状態です。
 (緑点滅) (消灯)	起動準備中	本機に電源が入り、操作可能になるまでの状態、またはソフトウェアアップデート中の状態です。
 (緑点灯) (消灯)	電源が入っている状態	映像が投写できる状態です。
 (オレンジ点灯) (消灯)	その他待機状態	無信号時設定 (ライトオフ) 状態、またはクイックリスタートの待機状態です。

警告表示と対処方法

インジケータの状態	点滅回数	意味／対処のしかた
 (赤点灯) (赤点滅)	2回	フィルターカバーまたはエアフィルターが確実に取り付けられていません。 フィルターカバーまたはエアフィルターの取り付け状態を確認し、確実に取り付けてください。(47 ページ)
	3回	光源が正常に点灯しません。 電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	4回	本体ソフトウェアの更新時のエラーです。 電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認します。USB または LAN 端子に接続されていることを確認したあと、もう一度電源コードをコンセントに差し込み電源を入れて、再度ソフトウェアの更新を行ってください。(48 ページ)
	6回	本機への強い衝撃を検出しました。 本体に明らかな異常が見られない場合、電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	8回	レンズが適切に装着されていません。 レンズの取り付け状態を確認し、確実に取り付けてください。(11 ページ)
 (赤点滅) (赤点滅) 同時に点滅	2回	本機内部の温度が異常です。 以下の対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ エアフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。(47 ページ) ・ 排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、十分な間隔を確保してください。(3 ページ) ・ 本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。(49 ページ)

上記以外のインジケータ点滅時には電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
 それでも解決しない場合はソニーの修理窓口にご相談ください。

メッセージ一覧

画面に次のメッセージが表示されたら、表に従い対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた
フィルターを掃除してください。 本機内部の温度が高くなっていますので、 高地モードを入に切り替えます。	本機内部の温度上昇を検知しました。 高地（海拔 1500 m 以上）での使用を想定して高地モードを「入」に切り替えます。 高地で使用していない場合は、以下の対処を行ったのち、高地モードの設定を「オート」にしてください。（30 ページ） <ul style="list-style-type: none">・ エアークフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。（47 ページ）・ 排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、十分な間隔を確保してください。（3 ページ）・ 本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。（49 ページ）
フィルターを掃除してください。 本機内部温度が高いです。1 分後にライト オフします。	本機内部の温度上昇を検知しました。 以下の対処を行ってください。 <ul style="list-style-type: none">・ エアークフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。（47 ページ）・ 排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、十分な間隔を確保してください。（3 ページ）・ 本機周囲の温度を確認し、動作保証温度の範囲内でご使用ください。（49 ページ）・ 本機の高地モードの設定が「入」になっています。ご使用の環境に合わせて設定してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	再生する機器の画面設定で本機が対応している信号へ変更してください。（53 ページ）
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	「入力 A 信号種別」を「オート」、または入力されている信号に合わせて設定してください。（27 ページ）
無効キーが押されました。	正しいボタンで操作してください。（5 ページ）
操作キーロック中です！	「操作キーロック」が設定されています。（26 ページ）
レンズコントロールはロックされています！	「レンズコントロール」が「切」で設定されています。（26 ページ）
ライト減光中	「信号無変化時設定」により、ライト出力を低減させているときに表示されます。（27 ページ）信号変化や操作（リモコンまたは操作部）を検出すると復帰します。
設定輝度を維持できません	「輝度一定」が選択されていますが、光源の寿命により、輝度を一定に保てなくなっています。（21 ページ） ソニーの相談窓口にご相談ください。
フィルター掃除を行います。 フィルターを叩く音が鳴ります。	電源を切ったあと、スタンバイ状態でエアークフィルターのクリーニングを行います。（30 ページ）

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの修理窓口にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	対処のしかた
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。 「操作キーロック」が「入」になっていると、本体の I/O ボタンで電源を入れることができません。(26 ページ) エアフィルターの取り付け状態を確認し、確実に取り付けてください。(47 ページ)

映像に関する項目

症状	対処のしかた
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。(6 ページ) コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。(14 ページ) 入力が正しく選ばれていることを確認してください。(14 ページ) 消画（ブランク）されていないことを確認してください。(5 ページ) 「ゾーン黒補正」調整時は自動的に画面が黒になります。(30 ページ)
映像が映らない／画乱れする	「HDMI ケーブル」を「ロング」に設定してください。(27 ページ)
映像の色味が変わった	カラーキャリブレーションが実行された可能性があります。 元の色味または出荷状態に戻す場合は、「カラーキャリブレーション」の「元に戻す」または「標準に戻す」を実行してください。(25 ページ)
意図しない映像が出力される	カラーキャリブレーションが実行中の可能性があります。 本モード実行中は、カラーキャリブレーション用のパターンが自動的に表示されます。本モードが終了すると、パターンは自動的に消えますのでしばらくお待ちください。 本体の I/O ボタン、またはリモコンの O ボタンを押すとパターンを消すことができますが、このとき本モードも停止します。(5、25 ページ)
画面にちらつきが発生する	信号の切り替えなどにより、一時的に画面にちらつきが発生する場合がありますが、故障ではありません。

表示に関する項目

症状	対処のしかた
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」または「全切」になっていると表示されません。(26 ページ)
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	入力信号を正しく判定できないことにより、正しく表示されない場合があります。その場合は「アスペクト」の設定を手動で設定してください。(23、24 ページ) 「スクリーンアスペクト」が正しい設定になっていることを確認してください。(30 ページ)
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。(5、15、29 ページ)
画面のすみが表示されない、または暗い	調整可能なレンズシフト量を超えてレンズシフトを使うと、画面のすみが表示されなかったり、暗くなったりする場合があります。調整可能なレンズシフト範囲でお使いください。(54 ページ)

症状	対処のしかた
画面がゆがんでいる	ワープが設定されています。ワープ機能を無効にしてください。(16、29 ページ)
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ライトモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。(21 ページ) 「信号無変化時設定」が設定されています。(27 ページ) 映像信号が入力されていない場合は、消費電力削減のため、ライト輝度を低減させています。(27 ページ) 本機の周りの温度が高い場合は、本機を保護するために輝度を抑制していることがあります。
画面がぼやける	フォーカスが当たっていることを確認してください。(14 ページ) レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。(6 ページ)

リモコンに関する項目

症状	対処のしかた
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。 電池が消耗していないことを確認してください。 本体とリモコンの「ID モード」が一致していることを確認してください。(5、26 ページ) リモコン受光部の設定を確認してください。(26 ページ)

その他

症状	対処のしかた
ファンの音が気になる	以下の場合は光源などをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。(21、30 ページ) ・「ライトモード」を「標準」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している ・エアフィルターが目詰まりしていないか確認し、フィルターを掃除または交換してください。(47 ページ) ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか確認し、十分な間隔を確保してください。(3 ページ)
ネットワークに接続できない	・ルーターの設定が適切ではない可能性があります。ルーターの設定方法については、ルーターの取扱説明書やホームページをご覧ください。 ・LAN ケーブルの接続を確認してください。本機の電源プラグを抜き、しばらく時間をおいてから再度つなぎ、本体の電源ボタンで電源を入れてください。

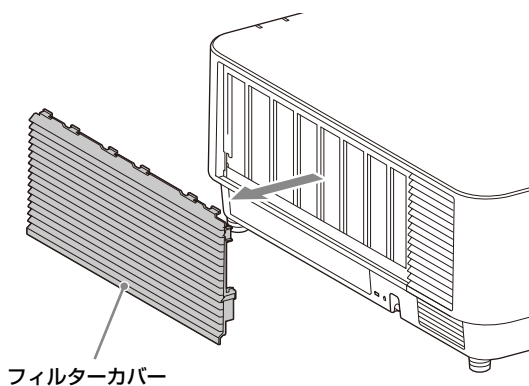
エアフィルターを掃除する

エアフィルター掃除のメッセージが表示された場合は、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

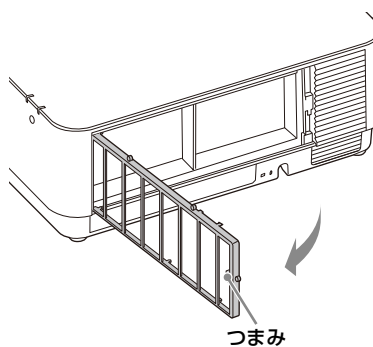
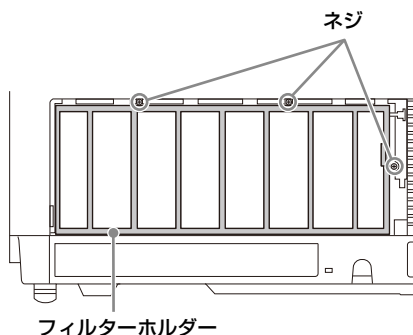
⚠ 注意

メッセージが表示されたあとに、そのままの状態でご使用を続けると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

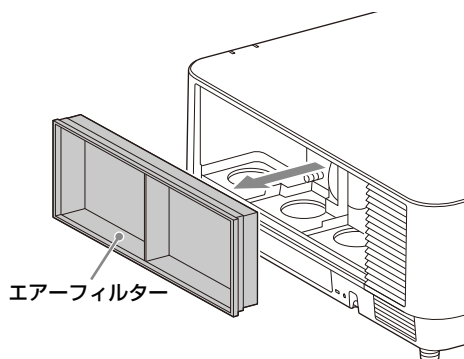
- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 フィルターカバー上側の左右を押しながら下方にずらし、フィルターカバーを外す。



- 3 ネジ (3 本) をゆるめ、フィルターホルダー右のつまみを持ち回転させて引き抜く。



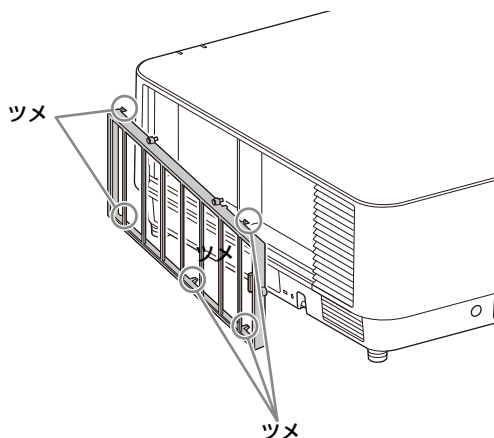
- 4 本体からエアフィルターを取り出す。



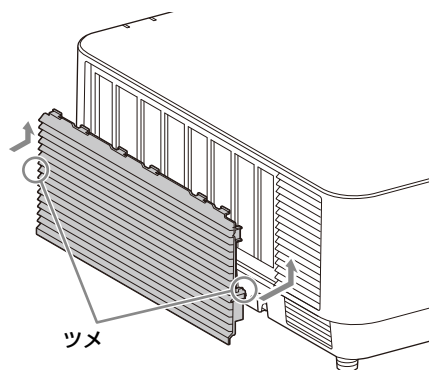
- 5 取り出したエアフィルターを掃除機で掃除する。

6 エアーフィルターを元に戻し、フィルターホルダーを取り付ける。

フィルターホルダーを取り付けるときは、左側2か所のツメを差し込んだあと、右側3か所のツメを差し込みます。次にネジ3本を締めてください。



7 フィルターカバーのツメを差し込み、押し上げる。



ご注意

エアーフィルターが確実に装着されていないと、本機の電源が入りません。

ソフトウェアのアップデートを行う

USBメモリーを使ってアップデートする

アップデート用のファイルをパソコンにダウンロードし、USBメモリーにファイルをコピーして本機のUSB端子に差し込むことで、本機のアップデートを行うことができます。ご利用には、お客様ご自身でUSBメモリーを用意していただき、お持ちのパソコンがインターネットに接続でき、USBメモリーにアップデートファイルを書きこむことが可能な環境が必要になります。

アップデート用のファイルは、ソニーのホームページからダウンロードできます。

詳細な手順は、ホームページをご覧ください。

<https://pro.sony.com>

<https://www.sony.jp/vpl/>（日本からアクセスの場合）

ネットワークに接続してアップデートする

プロジェクターが接続しているLAN環境にパソコンを接続することで、ネットワーク経由で本機のアップデートを行うことができます。

アップデート用のファイルは、ソニーのホームページからダウンロードできます。

詳細な手順は、「SWアップデート機能を利用する」(41ページ) およびホームページをご覧ください。

<https://pro.sony.com>

<https://www.sony.jp/vpl/>（日本からアクセスの場合）

ご注意

- ・本機では8GBまでのUSB2.0メモリーで動作を確認しています。ただし、すべてのUSBメモリーでの動作を保証するものではありません。

USBメモリーのフォーマット(初期化)を行う場合は、必ずファイルシステムFAT32で行ってください。それ以外で初期化すると、本機では使用できません。

- ・使用するUSBメモリーによっては非対応場合があります。詳細は、上記ホームページをご確認ください。
- ・ご使用の環境によっては、アップデートに80分程度の時間がかかることがあります。
- ・ソフトウェアのアップデート中は、電源ケーブルを抜かないでください。

主な仕様

項目	項目説明
投写方式	3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ 1.0 型 (25.4 mm)、3 枚、アスペクト比 16 : 10 有効画素数 6,912,000 画素 (1920×1200×3)
光源	レーザーダイオード
画面サイズ	40 ~ 600 型 (1.02 m ~ 15.24 m)
有効光束 (明るさ)	VPL-FHZ120L : 12,000 lm ⁻¹ (「ライトモード」: 「標準」) VPL-FHZ90L : 9,000 lm ⁻¹ (「ライトモード」: 「標準」)
対応走査周波数 ^{*2}	水平 : 15 ~ 92 kHz、垂直 : 48 ~ 92 Hz
表示可能解像度 ^{*2}	コンピューター信号入力時 最大入力解像度 : 1920×1200 ドット ビデオ信号入力時 480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p、1080/30p、1080/24p
コンピューター / ビデオ入出力	入力 A RGB/Y Pb Pr 入力端子 : 5BNC 凹、同期付 G/Y 信号 : 1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号 : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号 : TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 入力 B RGB 入力端子 : ミニ D-sub 15 ピン 凹、RGB 信号 : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号 : TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 入力 C DVI-D 入力端子 : DVI-D 24 ピン (Single link)、DVI 1.0 互換、HDCP 対応 入力 D HDMI 入力端子 : HDMI 19 ピン、デジタル RGB/Y Pb Pr、HDCP 対応 入力 E HDBaseT 端子 : RJ45 HDBaseT 伝送可能信号 : HDMI (Video)、RS-232C、Ethernet (100BASE-TX) HDBaseT 使用 LAN ケーブル : CAT5e 以上の STP ケーブル (ストレート、別売)、最大長 : 100 m 出力 モニター出力端子 : ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号 : 1Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号 : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号 : HD、VD 4 V (オープン)、1 Vp-p (75 Ω)、正負極性
その他入出力	RS-232C 端子 : D-Sub 9 ピン 凸 LAN 端子 : RJ45、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
使用温度	0 ~ 45 °C
使用湿度	20 ~ 80% (結露なきこと)
保存温度	- 10 ~ +60 °C
保存湿度	20 ~ 80% (結露なきこと)
電源	VPL-FHZ120L : AC 100 V、10.8 A、50/60 Hz VPL-FHZ90L : AC 100 V、8.4 A、50/60 Hz
消費電力	VPL-FHZ120L : 1076 W VPL-FHZ90L : 840 W
待機電力 (スタンバイモード)	0.50 W (「スタンバイモード」: 「低」)
待機電力 (ネットワークスタンバイモード)	21.6 W (LAN)、26.5 W (HDBaseT)、26.6 W (すべてのネットワーク端子が接続されている場合) (「スタンバイモード」: 「標準」)

項目	項目説明
発熱量	VPL-FHZ120L : 3671 BTU/h VPL-FHZ90L : 2866 BTU/h
標準外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	544 × 225 × 572 mm 544 × 205 × 564 mm (突起部含まず)
質量	VPL-FHZ120L : 約 27 kg VPL-FHZ90L : 約 26 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。

*1 : VPLL-Z4019 装着時。出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

*2 : 詳細は、対応信号一覧をご覧ください。(53 ページ)

別売アクセサリ

- ・ 別売アクセサリの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口を確認してください。
- ・ ここに記載されている別売アクセサリは、2018 年 8 月現在のものです。
- ・ 別売アクセサリの詳細は、アクセサリの取扱説明書をご覧ください。

項目	項目説明
プロジェクションレンズ VPLL-4008	手動フォーカス 画面サイズ : 40~600 型 (1.02~15.24 m) 最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) : 148 × 133 × 240 mm 質量 : 約 2.6 kg
プロジェクションレンズ VPLL-Z4111	電動フォーカス/ズーム ピクチャーポジション機能対応レンズ 画面サイズ : 60~600 型 (1.52~15.24 m) 最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) : 158 × 150 × 263 mm 質量 : 約 4.0 kg
プロジェクションレンズ VPLL-Z4015	電動フォーカス/ズーム 画面サイズ : 40~600 型 (1.02~15.24 m) 最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) : 148 × 133 × 231 mm 質量 : 約 3.0 kg
プロジェクションレンズ VPLL-Z4019	電動フォーカス/ズーム 画面サイズ : 40~600 型 (1.02~15.24 m) 最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) : 148 × 133 × 212 mm 質量 : 約 3.0 kg
プロジェクションレンズ VPLL-Z4025	電動フォーカス/ズーム 画面サイズ : 40~600 型 (1.02~15.24 m) 最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) : 148 × 133 × 243 mm 質量 : 約 2.8 kg
プロジェクションレンズ VPLL-Z4045	電動フォーカス/ズーム 画面サイズ : 60~600 型 (1.52~15.24 m) 最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) : 148 × 133 × 235 mm 質量 : 約 3.0 kg
3G-SDI 入力アダプター BKM-PJ20 ^{*1}	BKM-PJ20の取扱説明書をご覧ください。

*1 : VPL-FHZ120L のみ対応します。

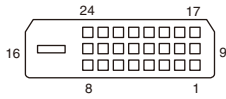
ご注意

表示している外形寸法、質量は概寸です。

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

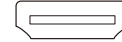
ピン配列

DVI-D 端子 (DVI-D、凹)



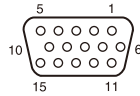
1	T.M.D.S. Data2 -	14	+5 V Power
2	T.M.D.S. Data2+	15	Ground (return for +5 V)
3	T.M.D.S. Data2 Shield		
4	NC	16	Hot Plug Detect
5	NC	17	T.M.D.S. Data0 -
6	DDC Clock	18	T.M.D.S. Data0+
7	DDC Data	19	T.M.D.S. Data0 Shield
8	NC	20	NC
9	T.M.D.S. Data1 -	21	NC
10	T.M.D.S. Data1+	22	T.M.D.S. Clock Shield
11	T.M.D.S. Data1 Shield	23	T.M.D.S. Clock+
12	NC	24	T.M.D.S. Clock -
13	NC		

HDMI 端子 (HDMI、凹)



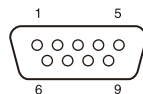
1	T.M.D.S. Data2+	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock -
3	T.M.D.S. Data2 -	13	NC
4	T.M.D.S. Data1+	14	RESERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	T.M.D.S. Data1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0+	17	GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 -	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock+		

RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン、凹)



1	映像入力 (赤) R	9	DDC 用電源入力
2	映像入力 (緑) G	10	接地
3	映像入力 (青) B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号
7	接地 (緑用)	15	DDC/SCL
8	接地 (青用)		

RS-232C 端子 (D-Sub 9 ピン、凸)



1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

対応信号一覧

コンピューター信号

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		入力 A/ 入力 B	入力 C/ 入力 D/ 入力 E
640×350	31.5/70	●	—
	37.9/85	●	—
640×400	31.5/70	●	—
	37.9/85	●	—
640×480	31.5/60	●	●
	35.0/67	●	—
	37.9/73	●	—
	37.5/75	●	—
	43.3/85	●	—
800×600	35.2/56	●	—
	37.9/60	●	●
	48.1/72	●	—
	46.9/75	●	—
	53.7/85	●	—
832×624	49.7/75	●	—
1024×768	48.4/60	●	●
	56.5/70	●	—
	60.0/75	●	—
	68.7/85	●	—
1152×864	64.0/70	●	—
	67.5/75	●	—
	77.5/85	●	—
1152×900	61.8/66	●	—
1280×960	60.0/60	●	●
	75.0/75	●	—
1280×1024	64.0/60	●	●
	80.0/75	●	—
	91.1/85	●	—
1400×1050	65.3/60	●	●
1600×1200	75.0/60	●	●
1280×768	47.8/60	●	●
1280×720	45.0/60	●	● ^{*1}
1920×1080	67.5/60	—	● ^{*1}
1366×768	47.7/60	●	●
1440×900	55.9/60	●	●
1680×1050	65.3/60	●	●
1280×800	49.7/60	●	●
1920×1200	74.0/60	● ^{*2}	● ^{*2}
1600×900	60.0/60	● ^{*2}	● ^{*2}

ビデオ信号

信号	fV [Hz]	入力端子		
		入力 A/ 入力 B	入力 C/ 入力 D/ 入力 E	入力 F ^{*3} *4
480i	60	●	●	●
576i	50	●	●	●
480p	60	●	●	—
576p	50	●	●	—
1080i	60	●	●	●
1080i	50	●	●	●
720p	60	●	● ^{*1}	●
720p	50	●	●	●
1080p	60	—	● ^{*1}	●
1080p	50	—	●	●
1080p	30	—	—	●
1080p	24	—	●	●

*1：入力 C はコンピューター信号、入力 D/ 入力 E はビデオ信号として識別します。

*2：VESA Reduced Blanking 信号のみ対応します。

*3：VPL-FHZ120L のみ対応します。

*4：BKM-PJ20 のみ対応します。

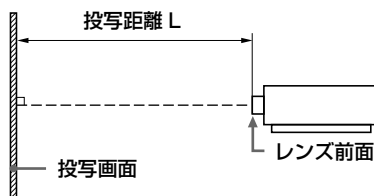
ご注意

- ・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- ・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度では表示されず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。
- ・設計値のため多少誤差があります。

投写距離とレンズシフト量

投写距離表

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。



単位：m

画面サイズ		投写距離 L					
対角 D	横 × 縦	VPLL-4008	VPLL-Z4111	VPLL-Z4015	VPLL-Z4019	VPLL-Z4025	VPLL-Z4045
80 型 (2.03)	1.72 × 1.08	1.70	2.23 - 3.36	3.06 - 4.24	4.04 - 5.37	4.99 - 9.78	9.33 - 12.92
100 型 (2.54)	2.15 × 1.35	2.14	2.81 - 4.22	3.85 - 5.33	5.08 - 6.74	6.27 - 12.27	11.71 - 16.15
120 型 (3.05)	2.58 × 1.62	2.58	3.38 - 5.08	4.65 - 6.41	6.12 - 8.12	7.56 - 14.75	14.10 - 19.38
150 型 (3.81)	3.23 × 2.02	3.25	4.24 - 6.37	5.83 - 8.04	7.68 - 10.18	9.49 - 18.48	17.67 - 24.23
200 型 (5.08)	4.31 × 2.69	4.36	5.68 - 8.52	7.81 - 10.76	10.28 - 13.61	12.70 - 24.69	23.63 - 32.30

投写距離計算式

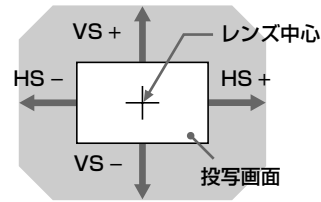
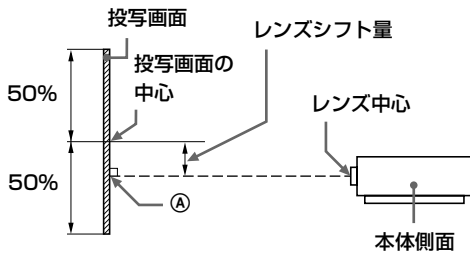
D：投写画面サイズ（対角）

単位：m

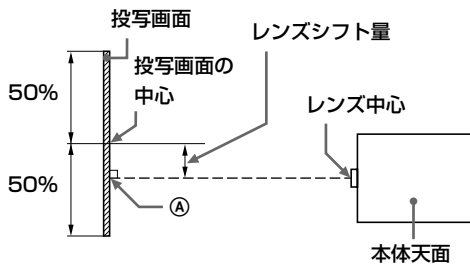
レンズ	投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
VPLL-4008	$L=0.022186 \times D-0.0777$	$L=0.000000 \times D+0.0000$
VPLL-Z4111	$L=0.028726 \times D-0.0718$	$L=0.042976 \times D-0.0712$
VPLL-Z4015	$L=0.039555 \times D-0.1063$	$L=0.054349 \times D-0.1045$
VPLL-Z4019	$L=0.052005 \times D-0.1235$	$L=0.068702 \times D-0.1224$
VPLL-Z4025	$L=0.064245 \times D-0.1553$	$L=0.124243 \times D-0.1541$
VPLL-Z4045	$L=0.119195 \times D-0.2113$	$L=0.161544 \times D+0.0000$

レンズシフト量

レンズシフト量は、レンズの中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 ㉑）と、投写画面の中心が同じ場合を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



網掛け：移動できる範囲



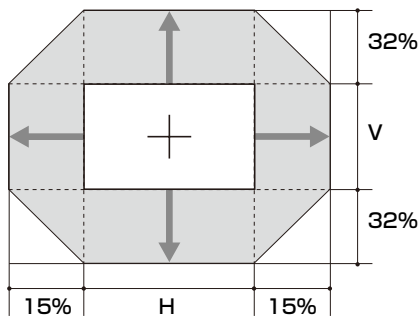
VS + : 垂直レンズシフト量 (上) [%]

VS - : 垂直レンズシフト量 (下) [%]

HS + : 水平レンズシフト量 (右) [%]

HS - : 水平レンズシフト量 (左) [%]

■ VPLL-4008



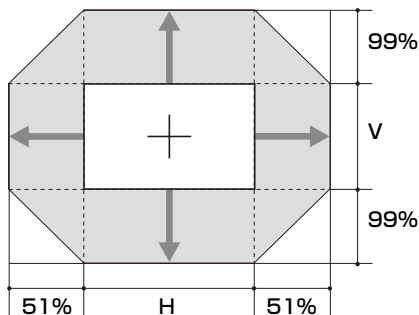
$$VS + = 32 - 2.133 \times (HS + \text{または} HS -) [\%]$$

$$VS - = 32 - 2.133 \times (HS + \text{または} HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 15 - 0.469 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 15 - 0.469 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z4111



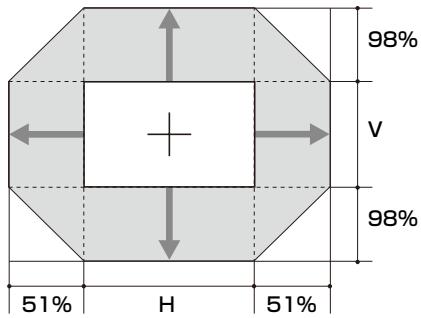
$$VS + = 99 - 1.941 \times (HS + \text{または} HS -) [\%]$$

$$VS - = 99 - 1.941 \times (HS + \text{または} HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 51 - 0.515 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 51 - 0.515 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z4015



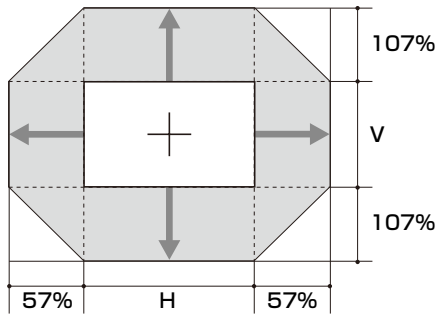
$$VS + = 98 - 1.922 \times (HS + \text{または } HS -) [\%]$$

$$VS - = 98 - 1.922 \times (HS + \text{または } HS -) [\%]$$

$$HS + = HS - = 51 - 0.520 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 51 - 0.520 \times VS - [\%]$$

■ VPLL-Z4019、VPLL-Z4025、VPLL-Z4045



$$VS + = 107 - 1.877 (HS + \text{または } HS -) [\%]$$

$$VS - = 107 - 1.877 (HS + \text{または } HS -) [\%]$$

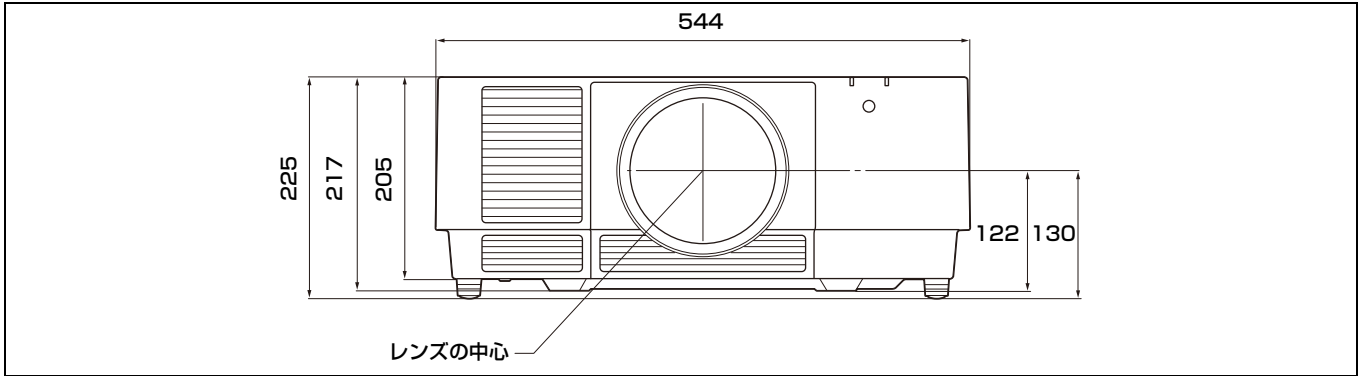
$$HS + = HS - = 57 - 0.533 \times VS + [\%]$$

$$HS + = HS - = 57 - 0.533 \times VS - [\%]$$

寸法図

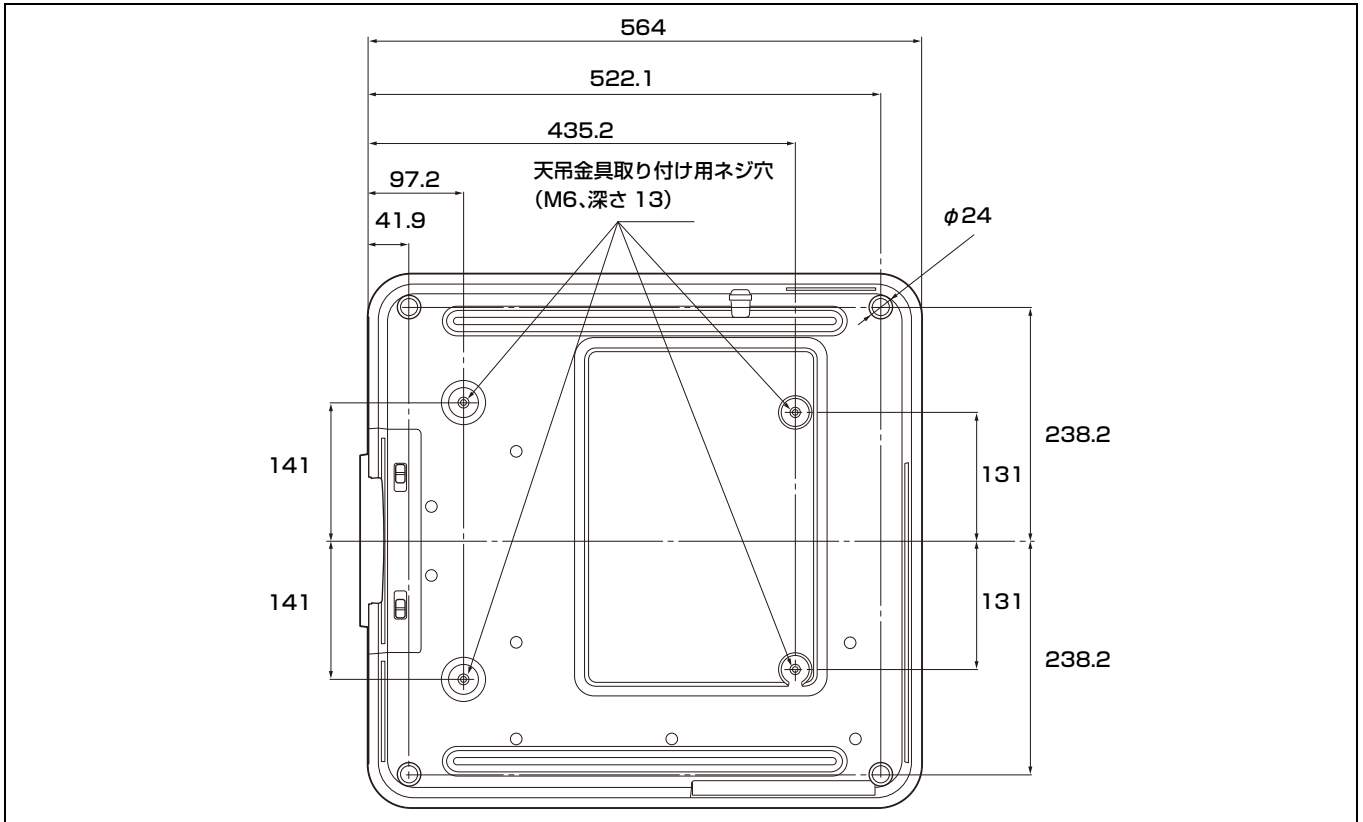
本体前面

単位：mm



本体底面

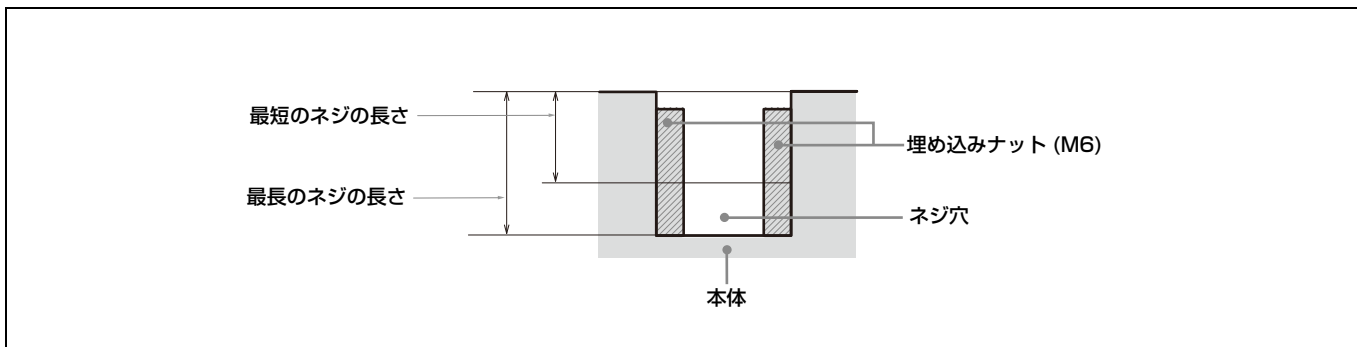
単位：mm



天吊金具取り付け用ネジ穴

天吊金具取り付け用ネジは、6.5 mm（最短）から 13 mm（最長）のものを使用してください。

推奨締め付けトルク（ネジを回転方向に回す力）：1.4 ± 0.2 N-m



保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → 「故障かな? と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの修理窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

商標について

- ・ Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- ・ Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- ・ Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ Safari は米国 Apple Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- ・ AMX は、AMX Corporation の商標です。
- ・ HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- ・ Crestron RoomView は Crestron Corporation の商標です。
- ・ HDBaseT™ と HDBaseT アライアンスロゴは HDBaseT アライアンスの登録商標です。
- ・ その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

ソフトウェアに関するお知らせ

別ファイルの「Software License Information」をご覧ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1